

リニアドライブ技術委員会は何をしてきたか 1987-2016

技術委員会第150回を記念して

北野淳一（J R 東海）

2016/6/24 信州大学SASTec

リニアドライブ温故知新

- 委員長になって何ができるかなと考えた 2012～
 - できるだけ会合に参加すること
- 技術委員会のホームページが途絶えていたので、小豆澤委員長・脇若委員長がまとめられた資料をもとに冬休みの宿題のつもりで作成 2013.12.26～
 - 記録の重要性を再認識
- ホームページDBから「何をしてきたか」を紹介
- 超電導リニア・中央新幹線の紹介

参考資料

- 正田,野中,松村：リニアドライブ技術委員会及び関連調査専門委員会活動報告,LD-89-9, 1989
- 成田：マグネティックスの展望と期待,IEEJ 110,16, 1990
- 山田：リニアドライブ技術委員会は何をしてきたか,SEAD7基調講演10, 1995
- 苅田：搬送用リニアモータの実用化動向と将来展望, H8全国大会S.19-1, 1996
- 小豆澤：電気学会におけるリニアドライブ技術調査活動の変遷,LD-06-20, 2006 (技術委員会第100回記念講演)
- 脇若：リニアドライブと磁気利用センシングの25年,LD-13-41, 2013
- 海老原,小豆澤：リニアモータ・磁気浮上の25年,IEEJ 133,676, 2013
- 北野：リニアドライブ技術委員会ホームページ事始め IEEJ 134D,NL11_1, 2014
- 大崎：LDIA：International Symposium on Linear Drives for Industry Applications, IEEJ 136,211, 2016
- 電気学会事業報告,昭和22年～平成27年
- 電気學會一覽,大正14年,15年,昭和4年,6年,7年 国会図書館デジタルコレクション
- 創立70周年記念記事,IEEJ 78,1517a, 1958
- 電気學會五十年史, 電気学会七十五年史

私は何をしてきたか

リニアドライブ技術委員会				調査専門委員会		国際会議等 *参加	
		就任	退任	役職			
H1	1989	4/1				J R東海入社	Maglev'89 横浜
H4	1992	4/3		幹事補佐	若手研究者シンポジウム H4~H6 研究会(若手) H8,H9		
H5	1993						Maglev'93 Argonne
H7	1995		4/3				
		4/3		幹事	超電導リニアドライブの システム技術(調) 委員	山梨実験線走行開始	LDIA'95 長崎
H9	1997	6/1					Maglev'95 Bremen
		4/3			超電導リニアドライブの 実証技術(調) 委員		LDIA'98 東京
H10	1998						Maglev'98 山梨
H11	1999	6/1			リニアドライブシステムの 用語等再検討(調) 委員		
H12	2000		5/31				
		10/1			超電導磁気浮上式鉄道の 高性能化技術(調) 委員長 2号委員		LDIA2001 長野
H13	2001		5/31				
H14	2002		4/30	副委員長	超電導磁気浮上式鉄道の 技術的成熟度(調) 委員長 2号委員		
		5/1					
			9/30				
H15	2003	6/1			超電導磁気浮上式鉄道の 技術的成熟度(調) 委員長 2号委員		Maglev2004 上海
H16	2004						LDIA2005 淡路島
H17	2005		5/31				
H21	2009		8/25				
H22	2010			退任中も副委員長活動継続 (LD議事録,研究会会告等)			
H23	2011						
H24	2012	1/5		1号委員			
			3/30				
		4/1		委員長			LDIA2015 Aachen
H27	2015						
H28	2016		3/31				
		4/1		1号委員			
H29	2017				…電気学会Myページより		LDIA2017 大阪

学会の目的

電気学会	日本機械学会	土木学会
定款 第2章 目的及び事業 (目的) 第3条 この法人は、電気に関する学理及びその応用の研究調査並びにその成果の利用についての<u>発表</u>、連絡、<u>知識意見の交換</u>調整及び情報の提供等を行う場となることにより、電気に関する研究の進歩とその成果の利用普及を図り、もって<u>学術の発展と文化の向上に寄与</u>することを目的とする。 昭和43年改正	第2章 目的及び事業 (目的) 第3条 本会は、機械及び機械システムとその関連分野（以後、「本会が対象とする分野」という）に関する<u>学術技術</u>の進歩発達をはかり、もって<u>人類社会の発展と安寧及び福祉の向上に貢献</u>することを目的とする。	第2章 目的及び事業 (目的) 第3条 学会は、土木工学の進歩及び土木<u>事業の発達</u>並びに土木<u>技術者の資質の向上</u>を図り、もって<u>学術文化の進展と社会の発展に寄与</u>することを目的とする。 英訳あり

第2は大会の開催であります。大会は大正14年から始まりました。翌15年から関係学会の連合大会となりまして、昭和13年までは年1回、14年から18年までは年2回あて開きました。19年には全国大会を開くことができず、東京と大阪の地方部会に代えたが、20年にはとうとう休会となりました。しかし、21年から支部大会が始まり、25年には全国大会が再開となりました。…創立70周年記念記事 会長式辞 一本松珠璣

昭和25年度事務及び事業報告

9. 大会・講演會

昭和22年度事務及事業報告

全國大會 終戦後最初の全國大會

7. 講演會・講習會・見學會

である第24回連合大會を4月28

地方大會 全國大會は未だ復活の運びとならないので、下記支部に於ては夫々電氣通信學會及び照明學會支部と連合して地方大會を開催した。

29,30日の3日間東京大學内に開いた。又各支部に於ても支部大會を開いた。これを表に示すと次の如くである。

	日 數	謝 演 數	
		特 別	一 般
東京支部	5	6	291
關西支部	2	2	101
九州支部	1	3	21
北海道支部	1	2	20
合計	9	13	433

…奨学資金 第二封鎖

	日 數	講 演 數	
		特別	一般
全 國	3	3	416
東京支部	2	2	91
關西 "	2	3	166
九州 "	1	0	38
東北 "	2	0	49
東海 "	2	0	67
中國 "	2	2	23
北海道 "	1	0	25
四 國 "	1	0	43
合 計	16	10	918

一 電氣學會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ電氣學術、電氣工業又ハ電氣技藝ニ篤志ナル者協同シテ之カ振起ヲ圖リ且之ニ關スル智識ヲ交換スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本會ハ社團法人ニシテ電氣學會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市麴町區有樂町一丁目一番地三菱二十

一號館内ニ置ク

事務所ノ位置ノ變更ハ東京市内ニ於ケル場合ニ限り役員會之

ヲ爲スコトヲ得

本會ハ學術技藝講究ノ爲メ總會ノ決議ニ依リ便宜ノ地ニ支部

ヲ置クコトヲ得

第四條 本會ハ第一條ニ定メタル目的ヲ達スル爲メ講演ヲ爲シ雑誌又ハ圖書ヲ發行頒布シ其他適當ナル事業ヲ行フ

電氣學會五十年史

第一回大會 大正十四年に至り毎年定期に大會を開催せんとするの議が起り、同年六月に臨時總會を開いてこれを決定した。即ち大會準備委員會を設け、委員長稲田三之助君(會長)、副委員長山本忠興君(副會長)、講演部會主査澁澤元治君、見學部會主査立原任君等四十二名の委員を委嘱して準備を進め、同年十月二十四日から四日間相互に東京に舉行、参加者千二十五名に上つた。

講演會 十月二十四日午前九時より東京府商工獎勵館大講堂に開會、午前午後相互に互に二十二件、翌二十五日は午前九時同所に開會、午前十件の講演があり、午後一時より左記三件の特別講演があつた。

一、獨逸電氣技術界の瞥見

二、短波長に就て

三、海軍に於ける電氣の應用

瀨 藤 象 二
中 上 豐 吉
西 崎 勝 之

懇親會 十月二十四日午後五時から帝國ホテルに開催、來賓三十三名、會員三百四十六名參會、先づ演舞場に於て豪華な餘興があり、終つて開宴、稲田會長の挨拶、來賓總代日下部土木學會長の謝辭、山川前會長の懷舊談あり午後九時二十分散會した。

見 學 十月二十六日沖電氣田町工場、東京放送局、理化學研究所を三班に分れて交互に見學、翌二十七日は東京鐵道局大井工場、東京電力田島發電所を見學した。

本大會には東京府下事業者十六社から五千三百圓の寄附があり、又郊外電鐵十二社から共同バスを發行された。尙大會を機とし電氣協會と聯合して電氣關係活動寫真映寫會を二十五、二十六日の兩夜商工獎勵館大講堂に開催した。

聯合大會 翌大正十五年二月役員會は第二回大會を大阪に開催することに決定、(一)大體の計畫は役員會に於て立案 (二)講演の選定は講演準備委員會を委嘱してこれに當り (三)諸準備及び實行は理事、幹事及び開催地委員に於て掌理することに定め準備を進めた。然る處、照明學會から聯合の申入れがあつたので、三月役員會に於て種々協議を重ねた結果、電信電話學會の参加を求め電氣三學會の聯合大會とすることに決定し、同會の賛成を得たので同年以降毎年聯合大會を開催するに至つたのである。

聯合大會の準備は三學會から委員を擧げ大會委員會を設けてこれに當り、地方に於て開催の場合は別に開催地に實行委員を設けた。昭和四年に至り聯合大會準備委員會規程が制定され、準備並に實行方法も組織化されるに至つた。左記に大會の概況を表示する。

第7・2表 連合全国大会概況

回数	開催年月	開催地	一講演	般参加者数	
1	大正15-4	大阪	28	789	工学会大会共同
2	昭和2-11	東京	40	1,302	
3	3-5	仙台	52	375	
4	4-4	京都	58	553	
5	5-4	東京	103	831	工学会大会共同
6	6-4	名古屋	114	669	
7	7-4	東京	148	1,200	
8	8-4	福岡	148	414	
9	9-4	東京	143	1,020	工学会大会共同
10	10-4	大阪	145	768	
11	11-4	東京	199	1,745	
12	12-7	札幌	204	386	
13	13-4	東京	136	1,200	工学会大会電気部会とする
14	14-4	広島	150	583	
15	" 11	東京	226	1,602	
16	15-4	東京	246	2,107	
17	" 10	京都	204	1,152	仙台の予定を施す 台ののため 行困難のとし 地方部会として 開催
18	16-4	東京	163	2,235	
19	" 9	東京	177	1,100	
20	" 10	大阪	132	1,868	
21	17-4	東京	125	1,632	テレビジョン学 会参加大会電気部 会を兼ねる
22	" 10	東京	148	1,802	
23	18-4	東京	182	750	
24	" 9	大阪	416	909	
25	25-4	東京	488	892	
26	26-5	京都	489	1,100	
27	27-5	東京	558	920	
28	28-5	仙台	591	1,200	
29	29-5	東京	884	1,710	
30	30-4-5	名古屋	789	1,460	
31	31-4	東京	959	1,875	
32	32-4	東京	1,172	1,604	
33	33-5	福岡	1,229	2,240	
34	34-4	東京	1,833	2,200	
35	35-7	札幌	1,670	2,170	
36	36-4	大阪	1,342	2,480	
37	37-4	東京	1,894	4,000	

学会の事業と技術委員会の業務

電気学会	日本機械学会	土木学会
(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 研究発表会、講演会、講習会および見学会の開催 …研究会、シンポジウム、フォーラム、見学会 (2) 会誌および図書の発行 …特集・解説、特集論文、単行本 (3) 調査・研究の実施および標準の制定 …調査専門委員会、協同研究委員会、技術報告 …受託の拡大 (4) 功績の表彰 …優秀論文発表賞、その他受賞候補の推薦 (5) 教育 …通信教育S30～48>10K, H10廃止 (6) 国内外の関係学術団体との協力および連携 …SEAD, LDIA, MAGLEV (7) その他目的を達成するために必要な事業 2 前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする。	(事業) 第4条 本会は、本邦及び海外において前条の目的を達するために次の事業を行う。 (1) 研究発表会および学術集会の開催 (2) 講習会、見学会、展示会、研修会、などの開催 (3) 会誌、論文集、研究報告、資料その他図書の刊行 (4) 調査研究、資料・情報などの収集ならびに作成 (5) 研究・技術・システムの開発ならびに、研究・調査の支援 (6) 技術基準・規格の制定、技術検査・試験の支援、助言、助成など (7) 論文、技術などの顕彰、コンテスト (8) 技術者人材育成・教育、技術者資格の認定 (9) 普及・啓蒙・広報ならびに、政策提言 (10) 国内外の関係組織・団体などとの協力および連携 (11) その他本会の目的を達成するために必要な事業	(事業) 第4条 学会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 土木工学に関する調査、研究 (2) 土木工学の発展に資する国際活動 (3) 土木工学に関する建議並びに諮問に対する答申 (4) 会誌その他土木工学に関する図書、印刷物の刊行 (5) 土木工学に関する研究発表会、講演会、講習会等の開催及び見学視察等の実施 (6) 土木工学に関する奨励、援助 (7) 土木工学に関する学術、技術の評価 (8) 土木技術者の資格付与と教育 (9) 土木に関する啓発及び広報活動 (10) 土木関係資料の収集・保管・公開及び土木図書館の運営 (11) その他目的を達成するために必要なこと 2 前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

ホームページ構成

- 委員会構成,
沿革と開催記録
- 活動報告
- 特集・解説一覧
- 優秀論文発表賞
- 研究会
- 専門委員会
- 大会シンポジウム
- SEAD
- MAGLEV, LDIA
- 産業応用フォーラム
- 共催・協賛・後援



一般社団法人電気学会
The Institute of Electrical Engineers of Japan

産業応用部門 Industry Applications Society

リニアドライブ技術委員会
Linear Drives Technical Committee

IEEE | IAS | LD-TC

サイト内 Google検索

1987～, [2001～02](#), [03～06](#), [LM](#) **リニアドライブ技術委員会**

技術委員会	活動報告	優秀論文発表員	特集・解説	SEAD	MAGLEV LDIA	研究会	専門委員会	大会シンポジウム	産業応用フォーラム	関連会合
-------	------	---------	-------	------	-------------	-----	-------	----------	-----------	------

◆技術委員会 [年間予定](#), [予定管理](#), [運営マニュアル](#)
 2015年4月24日, 7月3日, 10月29日, 12月11日, 2016年2月5日
 2016年4月8日, 6月24日(第150回), 10月28日, 12月9日, 2017年2月3日
 ◇[技術委員会構成](#), [沿革と開催記録](#), [設置趣意書\(pdf\)](#)

◆[活動報告](#) [研究会・論文誌](#)

◆[優秀論文発表賞受賞者](#), [感謝状](#)
 H27本部 岸田和也(東洋電機製造) LD-15-008, 小田原峻也(豊田工業大学) LD-15-060
 H27部門 西浦悠介(大阪大学) LD-15-053, 新田隼也(大阪大学) LD-15-027

◆学会誌・論文誌 [特集・解説一覧+資料検索](#)
 ※学会誌1888～2004, 論文誌1987～2002は無料で閲覧できます。

◆「電磁気関連のダイナミクス」シンポジウム [開催一覧](#)

SEAD27 , CFP , プログラム , 155+4件, 227名, 懇親会118名 , 施設見学会	長崎 ハウステンボス	2015年5月14～15日
SEAD28 , CFP , プログラム	日吉 慶応義塾大学	2016年5月18～20日
SEAD29	倉敷アイビースクエア	2017年5月18～19日

◆国際会議&シンポジウム [MAGLEV](#), [LDIA](#)

MAGLEV 2014 (archive)	Rio de Janeiro	September 28-October 1, 2014
LDIA 2015 , Program	Aachen	July 27-29, 2015
MAGLEV 2016	Berlin	September 23-26, 2016
LDIA 2017	Osaka, Japan	September 6-8, 2017
LDIA 2019	Neuchatel , Switzerland	2019

◆研究会 [主な研究分野\(改訂案\)](#), [総合案内](#), [発表申込](#), [開催一覧](#) [2000～▼], [1998](#), [1999](#), [1988～2001\(xlsx\)](#)
 ◇Technical Meetings [How to Apply](#), [Application](#)
 ◇研究会資料 2005～ 開催日別 [2005～▼], 年別ID順 [LD05～▼], 1988～[J-GLOBAL](#), [CiNii](#)

開催日 過去表示	場所	テーマ	件数・〆切等	
2016年1月26日	関西大学 100周年記念会館	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般, 開催案内 プログラ	29件	63名
2016年6月23,24日	信州大学工学部 SASTec	磁気センサ, 高周波磁気, リニアモータ・アクチュエータ, リニアドライブ技術一般, および磁気応用一般, MAG/LD合同, ※24日 第150回リニアドライブ技術委員会, プログラム	15件	__名
2016年7月7,8日	秋田県総合保健センター	電気鉄道・リニアドライブ一般, TER/LD合同, 8日 太陽光発電・交流蓄電池電車関連施設見学会, プログラム	20件	__名
2016年8月4,5日	ダイキン工業 TIC	小形モーター一般・永久磁石モーター一般/リニアドライブ一般/家電・民生一般, HCA/RM/LD合同, TIC見学会, プログラム	38件	__名
2016年9月8日	金沢大学	電磁アクチュエータシステムのための磁性材料(軟磁性および硬磁性)とその評価技術, 回転機・リニアドライブ一般, MAG/RM/LD合同, 日本磁気学会学, 元素戦略磁性材料研究拠点	(10件)	7/17 〆 申込
2016年12月1,2日	崇城大学	磁性材料, モータドライブ一般, 磁気支持・リニアモーター一般, MAG/MD/LD合同	(20件)	9/23 〆 申込
2017年1月(2日)	関西	リニアドライブ技術一般, 磁気浮上技術, リニアドライブの応用, および磁気応用一般	(20件)	〆 〆
2017年3月(1日)	名古屋	電力用磁性材料, 電磁アクチュエータシステム用磁性材料, 磁気応用一般, リニアドライブ一般, MAG/LD/日本磁気学会合同	(10件)	〆 〆

※電気学会研究会は会員・非会員を問わずなたでも自由に無料で発表・参加できます。

◆調査専門委員会・協同研究委員会 [現行一覧](#), [委員公募](#), [変遷\(pdf\)](#), [\(xlsx\)](#), [運営マニュアル](#)
 ◇技術報告 ([リニア](#), [多自由度](#), [磁気浮上](#), [医用](#)), [書籍](#)

DLD1099 環境調和型磁気支持応用技術の体系化 (調)	MLV 設置趣意書 , 技術報告	委員	2011/11～14/10
DLD1101 多自由度新世代アクチュエータの性能評価 (調)	MDD 設置趣意書	委員	2012/4～15/3
DLD1103 産業用リニアドライブ技術の応用展開 (調)	MEL 設置趣意書 , 技術報告 (Webリンク集)	委員	2012/4～15/3
DLD1105 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術 (調)	MMA 設置趣意書	委員	2014/2～17/1
DLD1107 磁気浮上技術 (調)	MLV 設置趣意書		2014/11～17/10
DLD1109 産業用リニアドライブの活用技術 (調)	MEL 設置趣意書		2015/4～18/3

◆全国大会・産業応用部門大会シンポジウム [開催一覧+資料検索](#), [一覧\(pdf\)](#)

2015年3月25日午前	全国大会 東京都市大学	S22 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術 8件, 70名
2015年9月3日午前	D部門大会 大分大学	S10 最新! リニアモータ応用の状況2015 5件, 30名
2016年3月16日-18日	全国大会 東北大学 川内北C	(不参加)

2016年8月30日-9月1日	D部門大会 群馬大学 荒牧C	S 磁気浮上技術の原理と応用
2017年3月15日-17日	全国大会 富山大学 五福C	MMA
2017年8月29日-31日	D部門大会 函館 or 札幌	MEL

◆産業応用フォーラム [開催案内](#), [お申込はこちらから](#)

2015年3月5日	東京工業大学@すずかけ台 すずかけホール	パネルディスカッション 2030年のアクチュエータはこれだ！ 新原理駆動と多自由度化による革新コア技術の横断的評価と将来展望 東京工業大学精密工学研究所見学会 協賛：日本機械学会，精密工学会	72名，見学38名
2015年3月6日	鉄道総研@国立	環境調和型磁気支持応用技術の動向 【特別講演】リニア模型玩具について	24名，見学24名+

◆共催・協賛・後援会合

2015年11月14,15日	第58回自動制御連合講演会 OS27 磁気浮上技術・磁気軸受・磁気浮上モータ	システム制御情報学会主催
2015年11月19,20日	第9回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム プログラム	日本電磁波エネルギー応用学会主催
2016年5月16,17日	第4回岩崎コンファレンス 「医工学とビッグデータが拓く医療の未来」， 中央大学駿河台記念館670号室	日本磁気学会主催
2016年11月10～12日	第59回自動制御連合講演会 OS 磁気浮上技術・磁気軸受・磁気浮上モータ	日本機械学会主催

Last Update: 06/22/2016 20:35 [ACCESS LOG](#)

沿革(設置前)

S54 1979.4 「リニアモータ・磁気浮上」セッション 全国大会(近畿大)

1979.10 マグネティックス技術委員会設置(成田賢仁)
磁性材料委員会 + 磁気応用委員会：12月解散

マグネティックス技術委員会傘下で活動始める

S55 1980.6～83.5 磁気アクチュエータ(調)(山田一)
技術報告単行本 リニアモータとその応用

S58 1983.6～86.5 リニア電磁アクチュエータ(調)(山田一)
マグネティックス研究会にて最終報告 MAG-86-25～41

S61 1986.6～89.3 リニア電磁駆動システム(調)(正田英介)
(1987.10リニアドライブに移管)
技術報告第314号 リニア電磁駆動システムの現状と応用技術

沿革(設置)

S62 1987.10 リニアドライブ技術委員会設置(正田英介)

産業応用部門10委員会

リニア電磁駆動システム(調)移管

研究会資料事前予約81件

調査専門委員会新設承認

(リニアドライブ)

(リニア電磁駆動システム調査

専門委員会)

1. リニア電磁駆動システムの
現状と評価法

交通・電気鉄道	4	38	116
金属産業	3	17	52
一般産業	1	5	59
回転機	6	86	293
半導体電力変換	5	62	342
産業電力電気応用	2	11	217
生産設備管理	1	5	85
産業計測制御	3	22	152
産業システム情報 化	2	10	128
リニアドライブ	—	—	81

昭和62年度事業報告より

S63 1988.4 リニアドライブ研究会開催

二つの調査専門委員会新設

・リニアモータ解析手法(調)(野中作太郎)

・磁気浮上方式(調)(松村文夫)

※技術委員会設置をS63 1988とする(歴代委員長の)資料があるが、
電気学会創立100周年を意識したものと考えられる

開催記録

- 1991 第27回以前は海老原・苅田初代幹事の記録(手帳)と記憶に基づき再現
- 1992 第27回以降は予定一覧等の採番資料が一部残っており，開催日・場所を確定
- 2000 第72回以降は全議事録をpdf化
 - 例えば，信大開催は1988/5以来，長野は1998/5以来
- 調査専門委員会等で再配布された予定一覧等，初期の資料をお持ちの方は情報提供をお願いしたい

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ技術委員会 沿革と開催記録

S54 1979.4 電気学会全国大会(近畿大)「リニアモータ・磁気浮上」セッション

1979.10 マグネティックス技術委員会設置(磁性材料委員会+磁気応用委員会:12月解散), [マグネティックスの展望と期待](#), 事業報告 [S54](#)

S55 1980.6 マグネティックス技術委員会傘下の調査専門委員会として活動を始める。

～83.5 磁気アクチュエータ調査専門委員会, 技術報告単行本 [リニアモータとその応用](#), 事業報告 [S55](#), [S56](#), [S57](#)S58 1983.6～86.5 リニア電磁アクチュエータ調査専門委員会, マグネティックス研究会にて最終報告 [MAG-86-25～41](#), 事業報告 [S58](#), [S59](#), [S60](#)S61 1986.6～89.3 リニア電磁駆動システム調査専門委員会(1987.10リニアドライブに移管), 技術報告第314号 [リニア電磁駆動システムの現状と応用技術](#), 事業報告 [S61](#)S62 1987.10 リニアドライブ技術委員会設置 [設置趣意書\(pdf\)](#), 産業応用部門10委員会, 研究会資料事前予約81件, 事業報告 [S62](#)S63 1988.4 リニアドライブ研究会開催 [1988～2001\(xlsx\)](#), 初期の活動報告 [LD-89-9](#), 初期の調査専門委員会 [45-3-592](#), 事業報告 [S63](#)※第27回以前は採番資料未確認のため暫定付番 [調査資料\(xlsx\)](#), 第27回以降確定, 第72回以降議事録, m:技術委員会名簿, s:各委員会予定一覧

	1987/7/10 東大	1987/8/17 東大/構成案	1987/10/16 電気学会/調専委移管	1987/10/21 東大/幹事会				
S62	0 1987/9/12 準備委員会@東大	1 1987/10/29 蔵前工業会館	2 1987/12/2 電気学会@有楽町	1988/3/10 埼玉博/HSST試乗				
S63	3 1988/5/20 長野	4 1988/7/22 宮崎/MLU試乗	5 1988/8/17 名古屋	6 1988/10/27 電気学会@有楽町	7 1988/11/18 九大	8 1988/12/9 地下鉄見学	9 1989/2/23 日大@市ヶ谷	
H1	10 1989/5/18 中央電気クラブ@大阪	11 1989/7/14 電気学会	12 1989/9/5 電気学会	13 1989/11/30 金沢	1990/1/19 調査専門委員会	14 1990/2/22 東大	1990/3/8 大阪/リニア地下鉄	
H2	15 1990/5/24 名古屋	16 1990/7/20 東大	17 1990/9/14 電気学会	18 1990/11/15 九州	19 1991/1/24 蔵前工業会館	20 1991/3/8 電気学会		
H3	21 1991/5/16 関西大	22 1991/7/18 名古屋/HSST見学	23 1991/9/20 電気学会	24 1991/10/11 交通会館	25 1991/12/13 浅草橋	26 1992/2/14 日本ビル/12号線見学		
H4	27 1992/5/7 m 電気学会@有楽町	1992/5/29 電磁推進船@神戸	28 1992/8/26 名古屋	29 1992/10/9 電気学会	30 1992/12/10 白嶺会館@金沢	31 1993/2/18 電気学会		
H5	32 1993/4/23 電気学会	33 1993/6/18 s 浅草橋	34 1993/8/24 電機大	35 1993/10/22 s 電気学会	36 1993/12/17 山上会館+LDIA	37 1994/1/20 s 山上会館+LDIA	38 1994/3/30 s 成蹊大学+LDIA	
H6	39 1994/5/20 s 電機大	40 1994/7/28 s 八重洲B2-5	41 1994/10/21 八重洲	42 1994/12/2 s 東京大学	43 1995/1/30 八重洲B2-5			
H7	44 1995/4/27 八重洲B2-8	45 1995/7/21 -3 , s 八重洲B2-5	46 1995/10/27 八重洲B2-8	47 1995/12/14 s 八重洲B2-8	48 1996/2/2 s 八重洲B2-8			
H8	49 1996/4/26 日立造船桜島工場 すばる望遠鏡見学	50 1996/7/11 s 八重洲B2-8	51 1996/10/17 八重洲B2-8	52 1996/12/12 八重洲B2-5	53 1997/2/7 s 八重洲B2-5			
H9	54 1997/4/24 八重洲B2-8	55 1997/7/10 s 山梨/MLX見学	56 1997/10/24 s 交通研@三鷹	57 1997/12/11 -8 八重洲B2-5	58 1998/2/13 s 八重洲B2-5			
H10	59 1998/5/8 m 若里市民文化ホール	60 1998/7/24 s 八重洲B2-5	61 1998/10/9 m , s 八重洲B2-5	62 1998/12/11 m 八重洲B2-5	63 1999/2/12 s 八重洲B2-5			
H11	64 1999/4/23 m 八重洲B2-5	65 1999/7/23 s , m 八重洲B2-5	66 1999/10/8 s 八重洲B2-5	67 1999/12/10 s 八重洲B2-5	68 2000/2/10 s 八重洲B2-5			
H12	69 2000/4/14 八重洲B2-5	70 2000/7/14 八重洲B2-5	71 2000/10/3 s 八重洲B2-5	72 2000/12/8 s 八重洲→	73 2001/2/9 s 八重洲B2-5			
H13	74 2001/4/20 八重洲→	75 2001/7/8	76 2001/10/5	77 2001/12/14	78 2002/2/8			
H14	79 2002/4/26 八重洲→	80 2002/7/12	81 2002/10/11	82 2002/12/6	83 2003/2/7			
H15	84 2003/4/25 八重洲→	85 2003/7/11	86 2003/10/3	87 2003/12/5	88 2004/2/6			
H16	89 2004/4/16 八重洲	90 2004/7/9 品川→	91 2004/10/1	92 2004/12/3	93 2005/2/4			
H17	94 2005/4/15 品川→	95 2005/7/8	96 2005/10/7	97 2005/12/2	98 2006/2/3			
H18	99 2006/4/14 品川	100 2006/7/6 伊勢	101 2006/9/29	102 2006/12/1	103 2007/2/2			
H19	104 2007/4/13 品川	105 2007/6/15 神戸大学@深江	106 2007/9/28	107 2007/12/14	108 2008/2/1 電気学会@市ヶ谷			
H20	109 2008/4/4 品川→	110 2008/7/18	111 2008/10/24	112 2010/12/12	113 2009/1/30 神戸大学@深江			
H21	114 2009/4/24 品川→	115 2009/7/17	116 2009/10/23	117 2009/12/11	118 2010/2/5			
H22	119 2010/4/23 品川→	120 2010/7/16	121 2010/10/22	122 2010/12/10	123 2011/2/4 東芝@北府中			
H23	124 2011/4/22 品川→	125 2011/7/15	126 2011/10/21	127 2011/12/9	128 2012/2/10			
H24	129 2012/4/20 品川→	130 2012/7/6	131 2012/10/5 産総研@つくば	132 2012/12/7	133 2013/2/8			
H25	134 2013/4/26 品川→	135 2013/7/5	136 2013/10/4	137 2013/12/6	138 2014/2/7			
H26	139 2014/4/25 品川→	140 2014/7/11	141 2014/10/3	142 2014/12/12	143 2015/2/20			
H27	144 2015/4/24 品川→	145 2015/7/3	146 2015/10/29	147 2015/12/11	148 2016/2/5			
H28	149 2016/4/8 品川	150 2016/6/24 信州大	151 2016/10/28	152 2016/12/9	153 2017/2/3			

Last Update: 06/05/2016 11:10

委員会構成

- 基本データは電気学会に記録があり，年度ごとの主な構成をまとめた
- 現行委員は関連HPへリンク
- 歴代委員長は学会誌・論文誌検索照会
- 現行専門委員会の委員紹介：専門領域の情報提供

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ技術委員会

[構成の変遷・歴代全委員\(pdf\)](#), [\(xlsx\)](#)

2016/4/1

委員長	水野 勉	信州大学
副委員長 (D3論文主査)	森下 明平	工学院大学
1号委員	有賀 信雄	シンフォニアテクノロジー
1号委員	伊藤 一将	三菱電機
1号委員 (HP担当)	北野 淳一	JR東海
1号委員 (TER liaison)	古閑 隆章	東京大学大学院
1号委員	白石 克彦	安川電機
1号委員	中川 聡子	東京都市大学
1号委員	樋口 剛	長崎大学
1号委員	平田 勝弘	大阪大学
1号委員	増澤 徹	茨城大学
1号委員	森實 俊充	大阪工業大学
1号委員	矢野 智昭	近畿大学
1号委員 (MAG liaison)	脇若 弘之	信州大学
1号委員	和多田 雅哉	東京都市大学
1号委員	渡邊 利彦	IEEJフロ
2号委員 (MLV)	大橋 俊介	関西大学
2号委員 (MEL)	矢島 久志	SMC
2号委員 (MMA)	藤崎 敬介	豊田工業大学
幹事	矢島 久志	SMC
幹事 (大会論文委員)	田中 実	鉄道総合技術研究所
幹事補佐 (D3論文副主査)	鈴木 憲史	東京都市大学
(D3論文幹事)	坂本 泰明	鉄道総合技術研究所

歴代委員長

1987/10/13	正田 英介	東京大学
1989/12/15	野中 作太郎	九州大学
1992/4/3	山田 一 *	信州大学
1995/4/3	海老原 大樹	武蔵工業大学
1996/7/23	松村 文夫	金沢大学
1998/4/1	海老原 大樹	武蔵工業大学
2002/5/1	大崎 博之	東京大学
2005/5/9	小豆澤 照男	神戸大学
2008/4/1	脇若 弘之	信州大学
2012/4/1	北野 淳一	JR東海
2016/4/1	水野 勉	信州大学

DLD1099 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会

委員長	大橋 俊介	関西大学
委員	朝間 淳一	静岡大学
委員	大崎 博之	東京大学
委員	大路 貴久	富山大学
委員	大島 政英	諏訪東京理科大学
委員	岡 宏一	高知工科大学
委員	押野谷 康雄	東海大学
委員	小沼 弘幸	茨城工業高等専門学校
委員	柿木 稔男	崇城大学
委員	桑田 厳	I H I
委員	坂本 茂	日立製作所
委員	杉浦 壽彦	慶應義塾大学
委員	鈴木 晴彦	福島工業高等専門学校
委員	竹本 真紹	北海道大学
委員	田中 慶一	ニコン
委員	千葉 明	東京工業大学
委員	鳥居 肅	東京都市大学 電気電子工学科

委員	土方 規実雄	東京都市大学 機械システム工学科
委員	増澤 徹	茨城大学
委員	水野 毅	埼玉大学
委員	森下 明平	工学院大学
幹事	栗田 伸幸	群馬大学
幹事	長谷川 均	鉄道総合技術研究所
幹事補佐	丸山 裕	東芝

DLD1101 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会

委員長	上田 靖人	東芝
委員	青柳 学	室蘭工業大学
委員	井門 康司	名古屋工業大学
委員	上野 敏幸	金沢大学
委員	大路 貴久	富山大学
委員	太田 智浩	パナソニック電工
委員	大橋 健	信越化学工業
委員	奥山 晃久	ハイデンハイン
委員	苅田 充二	IEEJプロフェッショナル
委員	川嶋 健嗣	東京医科歯科大学
委員	五福 明夫	岡山大学
委員	坂間 清子	法政大学
委員	竹村 研治郎	慶應義塾大学
委員	富田 良幸	住友重機械工業
委員	楡井 雅巳	長野工業高等専門学校
委員	野口 聡	北海道大学
委員	ト 穎剛	信州大学
委員	堀越 敦	日本精工
委員	本田 智	首都大学東京 機械工学専攻
委員	真下 智昭	豊橋技術科学大学
委員	宮城 大輔	東北大学
委員	森實 俊充	大阪工業大学
委員	矢野 智昭	近畿大学
委員	山口 忠	岐阜大学
委員	山本 晃生	東京大学
幹事	乾 成里	日本大学
幹事	大井 英司	オリエンタルモーター
幹事補佐	土屋 淳一	首都大学東京 電気電子工学専攻

DLD1103 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会

委員長	矢島 久志	SMC
前任委員長	小林 学	三菱電機
委員	青山 康明	日立製作所
委員	碓賀 厚	宇部工業高等専門学校
委員	乾 成里	日本大学
委員	海老原 大樹	IEEJフェロー
委員	太田 聡	鉄道総合技術研究所
委員	大野 正毅	日本トムソン
委員	小野 圭太	オリエンタルモーター
委員	苅田 充二	IEEJプロフェッショナル
委員	栗山 義彦	NEOMAXエンジニアリング
委員	河野 巧	レニショー
委員	佐藤 海二	東京工業大学
委員	下田 大介	ハイデンハイン
委員	杉田 聡	山洋電気
委員	高石 陽介	三菱電機
委員	仲岩 浩一	多摩川精機
委員	中川 聡子	東京都市大学 電気電子工学科
委員	中西 祐	オリエンタルモーター
委員	楡井 雅巳	長野工業高等専門学校
委員	平田 勝弘	大阪大学
委員	星 俊行	安川電機

委員	水野 勉	信州大学
委員	森下 明平	工学院大学
委員	脇若 弘之	信州大学
委員	和多田 雅哉	東京都市大学 医用工学科
委員	渡辺 利彦	IEEJプロフェッショナル
幹事	江澤 光晴	キヤノン
幹事	村口 洋介	シンフォニアテクノロジー
幹事補佐	打田 正樹	鈴鹿工業高等専門学校
幹事補佐	岸田 和也	東洋電機製造

DLD1105 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術 調査専門委員会

委員長	藤崎 敬介	豊田工業大学
委員	池田 文昭	フoton
委員	伊藤 栄光	東英工業
委員	岩田 圭司	新日鐵住金
委員	上田 靖人	東芝
委員	上原 裕二	富士通
委員	榎園 正人	ベクトル磁気特性技術研究所
委員	川添 良幸	東北大学
委員	北野 伸起	ダイキン工業
委員	佐藤 之彦	千葉大学
委員	清水 敏久	首都大学東京
委員	島村 正彦	日本電気計測器工業会
委員	妹尾 剛士	デンソー
委員	谷 良治	三菱電機
委員	寺谷 達夫	名古屋大学
委員	土井 祐仁	信越化学工業
委員	戸高 孝	大分大学
委員	鳥居 肅	東京都市大学
委員	中井 英雄	豊田中央研究所
委員	中村 尚道	JFEスチール
委員	長谷川昌樹	布目電機
委員	広沢 哲	物質材料研究機構
委員	本蔵 義信	愛知製鋼
委員	松井 啓仁	日本自動車部品総合研究所
委員	丸川 泰弘	日立金属
委員	柳瀬 俊次	岐阜大学
委員	山崎 克己	千葉工業大学
委員	山田 隆	JSOL
委員	山田 健伸	安川電機
委員	吉澤 佳祐	鉄道総合技術研究所
委員	割田 好則	シナノケンシ
幹事	進藤 裕司	川崎重工業
幹事	田代 普久	信州大学
幹事補佐	小田原 峻也	豊田工業大学

Last Update: 04/23/2016 20:50

リニアドライブ技術委員会 構成の変遷

2016/4/7

		委員長	副委員長	幹事	幹事補佐	1号委員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1987	62	正田英介 S62.10.13 H1.12.15		海老原大樹 S62.10.13 H5.11.18	刈田充二 S62.10.13 H3.4.16	川西利昌 S62.10.3 H3.4.16	永井正夫 S62.10.3 H3.4.16	S62.10.13	岩本雅民	鹿野快男	川嶋眞生	木脇久勝	西條隆繁	斎間亨	谷本光生	野中作太郎	樋口俊郎	平沙多賀男	藤原俊輔	松田隆一	松村文夫	山田一		
1988	63							(S63.4.1)	岩本雅民	鹿野快男	川嶋眞生	木脇久勝	西條隆繁	斎間亨	谷本光生	樋口俊郎	平沙多賀男	藤原俊輔	松田隆一	山田一				
1989	1	野中作太郎 H1.12.15 H4.4.3						H1.9.7	岩本雅民	鹿野快男	川嶋眞生	西條隆繁	斎間亨	谷本光生	野中作太郎	樋口俊郎	平沙多賀男	藤原俊輔	松田隆一	宮下邦夫	山田一			
1990	2																							
1991	3		山田一 H3.4.16 H3.12.31			川西利昌 H3.4.16 H4.4.3	小豆澤照男 H3.4.16 H5.11.18	H3.4.16	岩本雅民	大熊繁	刈田充二	川嶋眞生	西條隆繁	斎間亨	佐藤修一	永井正夫	平沙多賀男	平根喜久	松田隆一	宮下邦夫				
1992	4	山田一 H4.4.3 H7.4.3					北野淳一 H4.4.3 H7.4.3	H4.5.15	岩本雅民	大熊繁	刈田充二	川嶋眞生	西條隆繁	斎間亨	佐藤修一	武田洋次	永井正夫	野中作太郎	平根喜久	牧直樹	松村文夫	三輪喜久男	山口仁	
1993	5		海老原大樹 H5.11.18 H7.4.3	小豆澤照男 H5.11.18 H7.4.3	脇若弘之 H5.4.3 H7.4.3	大崎博之 H5.12.24 H7.4.3		H5.4.5	大熊繁	大塚省三	阪部茂一	佐藤修一	武田洋次	永井正夫	平根喜久	細田義門	牧直樹	松本陽	三輪喜久男	山口仁	山田英二			
1994	6																							
1995	7	海老原大樹 H7.4.3 H8.7.23		大崎博之 H7.4.3 H14.4.30	北野淳一 H7.4.3 H14.4.30	横井利彰 H7.4.3 H10.8.5	村井敏昭 H7.4.3 H14.4.30	H7.4.3	大熊繁	大塚省三	奥山吉彦	小貴天	鹿野快男	阪部茂一	佐藤修一	永井正夫	平根喜久	藤原俊輔	細田義門	松本陽	山田英二	山田一	山中敏行	
1996	8	松村文夫 H8.7.23 H10.3.27						H7.9.12 H8.6.19	大熊繁 小豆澤照男	奥山吉彦 伊藤元哉	小貴天 海老塚龍次	鹿野快男 大熊繁	小林芳隆 奥山吉彦	阪部茂一 小貴天	永井正夫 鹿野快男	平根喜久 阪部茂一	藤崎敬介 永井正夫	藤原俊輔 平根喜久	細田義門 藤崎敬介	松本陽 藤原俊輔	山田英二 本間利久	山田一 松村文夫	水間毅	山田英二 山田一
1997	9							H9.5.21	小豆澤照男	伊藤元哉	海老塚龍次	海老原大樹	大熊繁	奥山吉彦	小貴天	鹿野快男	刈田充二	阪部茂一	藤崎敬介	藤原俊輔	本間利久	水間毅	山田英二	山田一
1998	10	海老原大樹 H10.4.1 H14.4.30	藤原俊輔 H10.8.5 H14.4.30			水野勉 H10.8.5 H14.4.30		H10.12.16	小豆澤照男	伊藤元哉	海老塚龍次	小貴天	鹿野快男	阪部茂一	古閑隆章	藤崎敬介	藤崎敬介	藤原俊輔	細田義門	松本陽	山田英二	山田一	水間毅	山田英二 渡部俊春
1999	11							H11.4.5	小豆澤照男	(阪部茂一) 板垣秀信	海老塚龍次	(小貴天)	鹿野快男	刈田充二	古閑隆章	(山田英二) 藤井信男	藤崎敬介	本間利久	正田英介	(伊藤元哉) 増田誠吉	水間毅	(山田一) 脇若弘之	渡部俊春	
2000	12							H12.4.1	小豆澤照男	板垣秀信	内海達見	海老塚龍次	鹿野快男	刈田充二	古閑隆章	藤井信男	藤崎敬介	本間利久	正田英介	増田誠吉	正田英介	水間毅	脇若弘之	渡部俊春
2001	13							H13.9.1	小豆澤照男	板垣秀信	内海達見	海老塚龍次	鹿野快男	刈田充二	古閑隆章	武田洋次	中川聡子	藤井信男	藤崎敬介	本間利久	牧直樹	正田英介	水間毅	脇若弘之
2002	14	大崎博之 H14.5.1 H17.5.2	北野淳一 H14.5.1 H21.8.25	水野勉 H14.5.1 H24.3.30	村井敏昭 H14.5.1 H28.3.31	鳥居肅 H14.7.3 H24.3.30	真田雅之 H14.7.3 H18.12.1	H14.10.11	小豆澤照男	板垣秀信	内海達見	刈田充二	古閑隆章	新田裕治	引原隆士	藤井信男	牧直樹	増田誠吉	水間毅	村本宏美	山田外史	脇若弘之	渡辺利彦	
2003	15							H15.11.14	小豆澤照男	内海達見	刈田充二	古閑隆章	築島千尋	新田裕治	引原隆士	藤井信男	牧直樹	増田誠吉	水間毅	村本宏美	山田外史	脇若弘之	渡辺利彦	
2004	16							H16.5.1	小豆澤照男	海老原大樹	刈田充二	古閑隆章	築島千尋	新田裕治	引原隆士	藤井信男	牧直樹	増田誠吉	水間毅	村本宏美	山田外史	脇若弘之	渡辺利彦	
2005	17	小豆澤照男 H17.5.9 H20.3.31						H17.7.17	伊藤元哉	岩松勝	海老原大樹	大崎博之	刈田充二	坂本哲三	築島千尋	引原隆士	牧直樹	増田誠吉	水間毅	村本宏美	山田外史	脇若弘之	渡辺利彦	
2006	18																							
2007	19							H19.3.31	伊藤元哉	岩松勝	海老原大樹	大崎博之	刈田充二	坂本哲三	築島千尋	引原隆士	牧直樹	水間毅	村本宏美	山田外史	脇若弘之	渡辺利彦		
2008	20	脇若弘之 H20.4.1 H24.3.30					矢島久志 H20.4.1 H27.3.11	H20.4.1	伊藤元哉	岩松勝	海老原大樹	大崎博之	刈田充二	坂井明雄	坂本哲三	大穀晃裕	樋口剛	水間毅	渡辺利彦					
2009	21							H21.9.1	小豆澤照男	海老原大樹	伊藤元哉	岩松勝	大崎博之	刈田充二	坂井明雄	坂本哲三	大穀晃裕	中村英夫	樋口剛	平田勝弘	増澤徹	脇若弘之		
2010	22							H22.10.18	伊藤元哉	海老原大樹	岩松勝	大崎博之	坂本哲三	鹿山透	大穀晃裕	中川聡子	中村英夫	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	脇若弘之		
2011	23							H24.1.5	伊藤元哉	海老原大樹	北野淳一	古閑隆章	鹿山透	大穀晃裕	中川聡子	中村英夫	長谷川均	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	脇若弘之		
2012	24	北野淳一 H24.4.1 H28.3.31	水野勉 H24.4.1 H28.3.31	鳥居肅 H24.3.31 H27.3.11		和多田雅哉 H24.3.31 H27.3.31		H24.6.19	海老原大樹	古閑隆章	白石克彦	中村英夫	長谷川均	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	森下明平	矢野智昭	吉桑義雄	渡辺利彦	脇若弘之		
2013	25																							
2014	26							H26.7.4	伊藤一将	海老原大樹	古閑隆章	白石克彦	長谷川均	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	森下明平	矢野智昭	渡辺利彦	脇若弘之	渡辺利彦	脇若弘之	
2015	27			矢島久志 H27.3.11		鈴木憲吏 H27.4.1		H27.5.20	伊藤一将	古閑隆章	白石克彦	田中実	中川聡子	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	森下明平	森實俊充	森下明平	矢野智昭	和多田雅哉	渡辺利彦	脇若弘之
2016	28	水野勉 H28.4.1	森下明平 H28.4.1		田中実 H28.4.1			H28.4.1	有賀信雄	伊藤一将	古閑隆章	白石克彦	中川聡子	樋口剛	平田勝弘	前田豊	増澤徹	森實俊充	矢野智昭	和多田雅哉	渡辺利彦	脇若弘之		

会員サービス

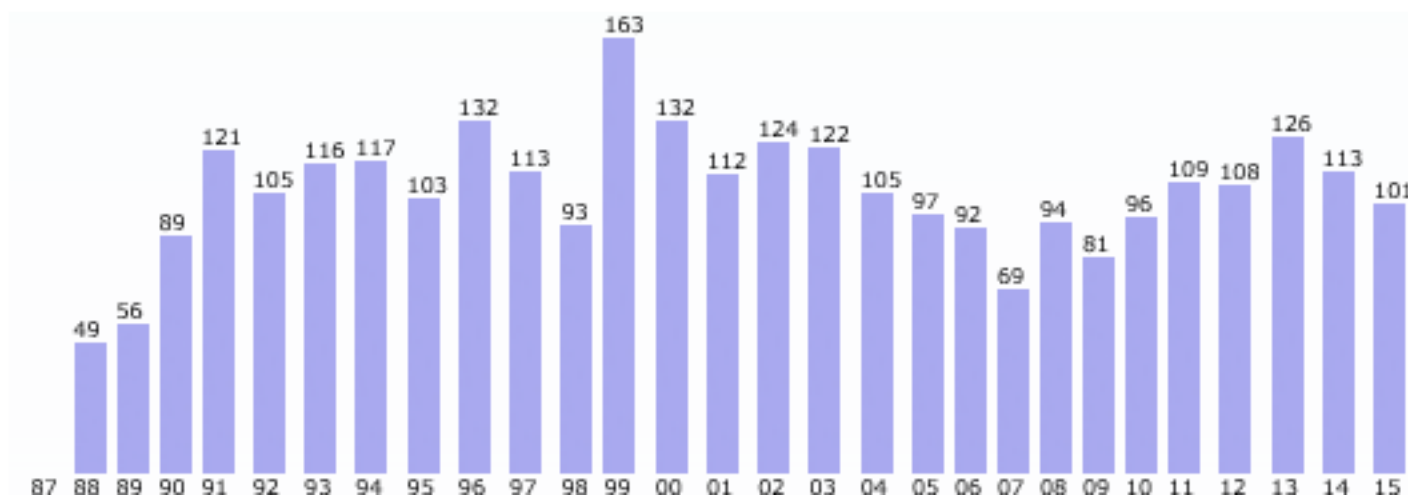
電気規格調査会 (JEC)

2016/06/25

1 2 3 4 5 6 > 総数57件

活動報告

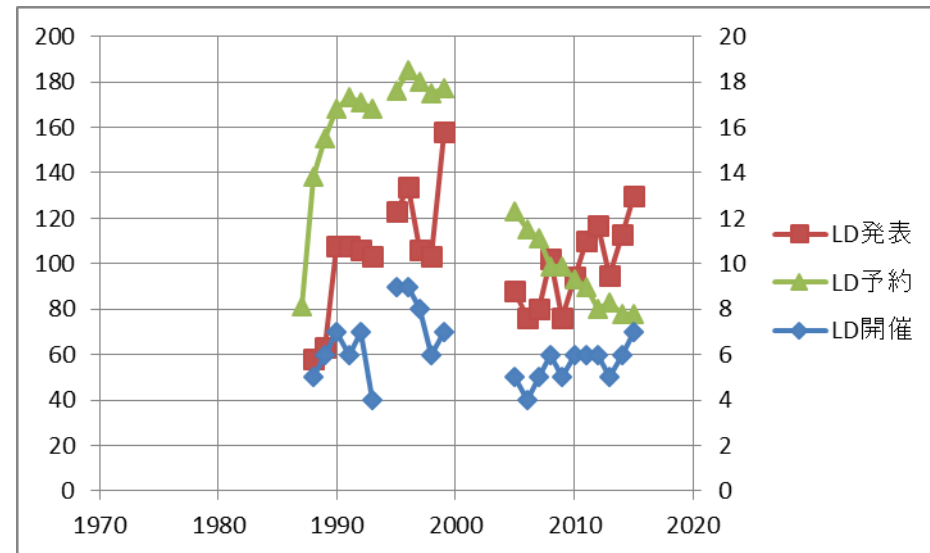
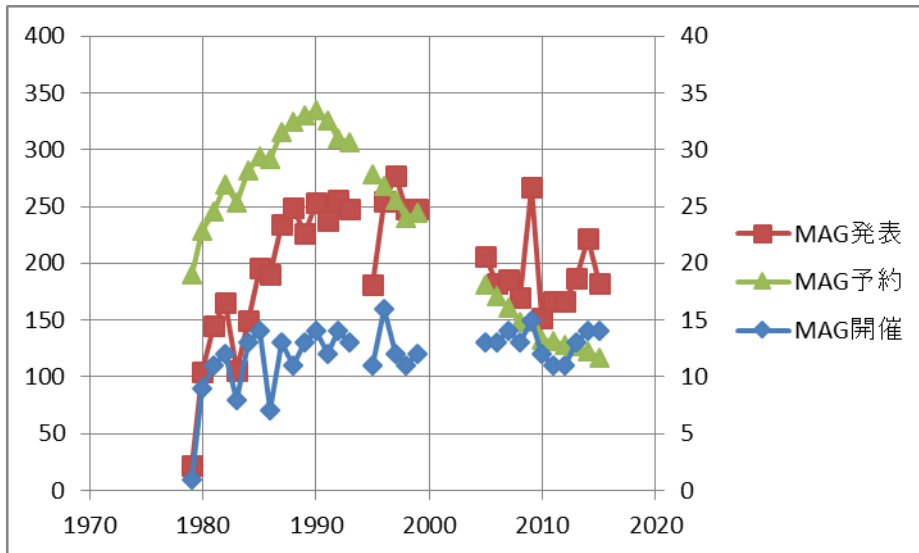
- 研究会発表件数年間100件程度
 - D部門ではSPC, RMに次ぐ
 - 合同・・・自己資本比率を確保すること



LD研究会発表件数の推移

活動報告 2

- 研究会資料予約数の拡大を！



研究会開催数，発表件数，資料予約数の推移(年度)

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ活動報告等

◆活動報告(pdf)

H27(FY2015) [6/3](#), [10/2](#), [12/1](#), [3/4](#)
H26(FY2014) [6/11](#), [10/3](#), [11/25](#), [2/24](#)
H25(FY2013) [6/7](#), [10/9](#), [12/5](#), [2/27](#)
H24(FY2012) [6/7](#), [10/5](#), [12/10](#), [3/11](#)

◆優秀技術活動賞 - 特別賞

IEEJ Outstanding Contribution Award



◆発見と発明のデジタル博物館 [卓越研究データベース](#)

1980 [誘導反発式磁気浮上・案内とリニア同期電動機推進システムの開発](#)
1980 [国鉄・浮上式（リニアモータ式）鉄道における電力供給制御システムの開発](#)
1980 [吸引式磁気浮上車の高速走行浮上特性の解析（有限要素法による過電流解析手法の適用）](#)
1987 [半無限二媒質問題の有限一境界要素法による有限要素領域の縮小化](#)
1991 [常電導ゼロパワー吸引式磁気浮上制御の開発と実用化](#)
2000 [超電導磁気浮上式鉄道における列車運転制御システムの開発](#)
2007 [共振アクチュエータの研究と音波振動歯ブラシへの応用](#)
2008 [磁気案内エレベータの実用化](#)
2008 [熱変位補償システムを組み込んだリニアモータ駆動門形マシニングセンタの開発](#)

◆動向調査

2005 多自由度モータの研究動向	百目鬼英雄（武蔵工業大学）、海老原大樹（五島育英会） LD-05-60
2003 国内外におけるリニアドライブ研究動向	海老原大樹、金子麻美（武蔵工業大学） LD-03-81
2001 国内外におけるリニアドライブ研究の動向と将来予測	海老原大樹、金子麻美（武蔵工業大学） LD-01-68
1998 最近2年間におけるリニアドライブ関連研究の動向	海老原大樹、鳥居庸、和多田雅哉（武蔵工業大学） 1998 電学論D Vol.118 No.10
1997 最近2年間におけるリニアドライブ関連研究の動向	海老原大樹、鳥居庸、和多田雅哉、金子麻美（武蔵工業大学） LD-97-101
1993 過去7年間のリニアドライブ研究動向のデータベースを用いた分析	鳥居庸、海老原大樹、金子麻美（武蔵工業大学） LD-93-45
1991 国内外におけるリニアモータ研究の動向(発表論文からの分析)	海老原大樹、金子麻美（武蔵工業大学） LD-91-77
1988 海外におけるリニアドライブ技術の動向	正田英介（東京大学）、海老原大樹（武蔵工業大学） LD-88-29

※[リニアドライブ研究会全資料リスト 1988-2001,2005\(xlsx\)](#)

http://www.eml.ee.musashi-tech.ac.jp/LM/LDkenn_mokuji.htmより

◆リニアドライブ関連発表件数

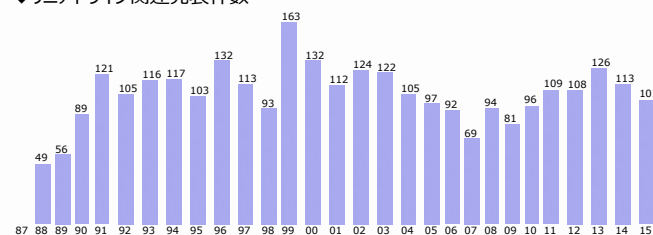


図.1 リニアドライブ研究会発表件数

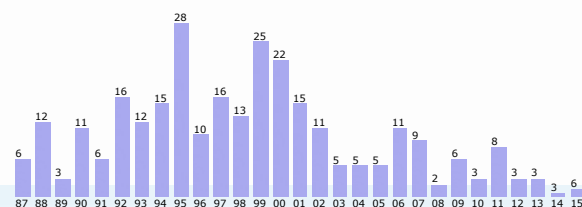


図.2 “リニア”関連の電気学会論文誌D件数...解説を含む

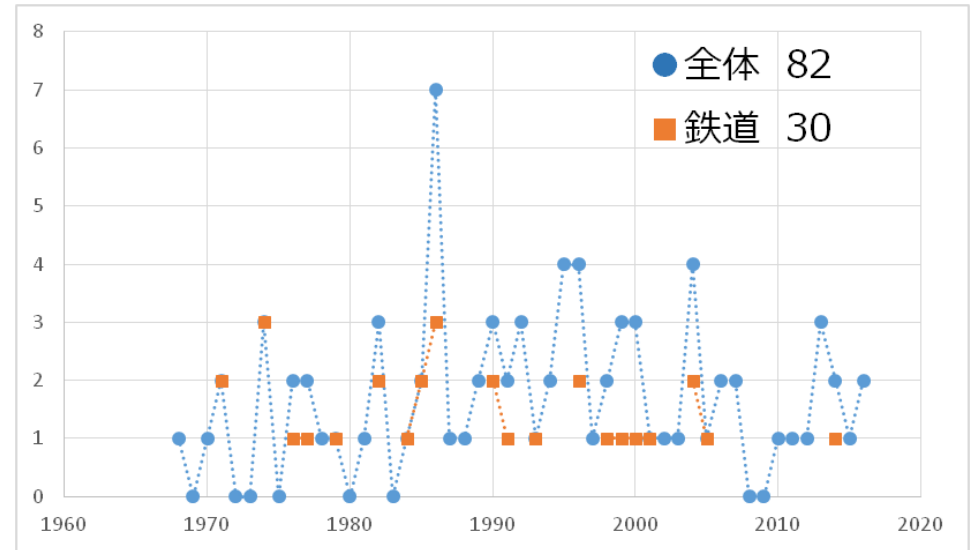
※[電気学会論文検索サービスB版](#)により抽出(xlsx)

Last Update: 06/07/2016 20:27

特集・解説一覧

- LD発の特集に限らず掲載
- LD発の特集企画・論文はしばらくくない

- 分類すべきか
- 他学会等の情報
 - 例えば，低温工学
 - 別途，解説ページ



LD関連特集・解説

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ関連 特集・解説

※[電気学会誌・論文誌](#)，[書籍・文献総合検索](#)

技術探索：磁気軸受からベアリングレスモータへ	千葉 明, 杉元 紘也, 電気学会誌 2016 Vol.136 No.5
特集：産業応用部門の国際活動 ー産業界へ発信する 国際会議のこれまでとこれからー LDIA：International Symposium on Linear Drives for Industry Applications	電気学会誌 2016 Vol.136 No.4 大崎 博之
特集：電気製品へと変わる人工心臓 1. 電気電子技術の利用による人工心臓の小型化と進歩 2. 補助人工心臓の現状 3. 人工心臓の磁気浮上方式の現在と将来 4. 電磁誘導による無線給電方式の現在と未来 5. 磁界共鳴による無線給電方式の現在と未来 6. 体内植込み用バッテリーと体内-体外間通信の現在と未来 7. 回路実装技術の現在と未来	電気学会誌 2015 Vol.135 No.9 磯山 隆 金箱 秀樹 増澤 徹 三浦 英和 居村 岳広 岡本 英治 井上 雄介
リニアドライブ技術委員会ホームページ事始め	北野 淳一, 電気学会論文誌D（産業応用部門誌） 2014 Vol.134 No.11 NL11_1
大特集：モビリティと電気 リニアモーターカーの25年後	電気学会誌 2014 Vol.134 No.2 北野 淳一
特集：この25年を振り返って リニアモータ・磁気浮上の25年	電気学会誌 2013 Vol.133 No.10 海老原 大樹, 小豆澤 照男
マグネティックスリニアドライブ合同研究会記念講演 リニアドライブと磁気利用センシングの25年	脇若 弘之, リニアドライブ研究会資料 2013 LD-13-41
技術探索：産業用リニアドライブ技術と応用の変遷	渡邊 利彦, 電気学会誌 2013 Vol.133 No.1
解説：宇宙エレベータの実現に向けて	土田 哲, 電気学会誌 2012 Vol.132 No.9
リニアドライブ技術のこれまでとこれから	脇若 弘之, 電気学会論文誌D（産業応用部門誌） 2011 Vol.131 No.5 NL5_1
特集：宇宙を探索る巨大な目ALMA を支える電機・電子技術 2. ダイレクトドライブ方式によるアンテナ駆動制御	電気学会誌 2010 Vol.130 No.4 伊藤 昇, 井上 正哉
特集：産業応用分野における電磁界解析の現状 4. 磁界解析を中核としたモータ最適設計への取り組み	電気学会誌 2007 Vol.127 No.11 北村 正司, 牧 晃司
特集：ブレイクスルーを生み出す次世代アクチュエータ 1. 総論 2. 機能性流体を用いたマイクロアクチュエータ 3. 弾性表面波モータ 4. 電磁型マイクロアクチュエータ用マイクロコイルの製作 5. 多自由度メカトロニクス用インテリジェントアクチュエータ 6. 多自由度アクチュエータ 7. 狭隙作業機器用マイクロモータ	電気学会誌 2007 Vol.127 No.5 樋口 俊郎 横田 真一, 吉田 和弘 黒澤 実 服部 正, 野田 大二 鈴森 康一 矢野 智昭 神田 岳文
LDIA2005特集論文（17件）	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 2006 Vol.126 No.10
特別講演：リニアドライブ技術委員会100回記念講演 電気学会におけるリニアドライブ技術調査活動の変遷	小豆澤 照男, リニアドライブ研究会資料 2006 LD-06-20
特集：アジアの話題の電気鉄道上海 3. 上海マグレブー世界最初の高速磁気浮上式鉄道営業線ー	電気学会誌 2005 Vol.125 No.5 小野田 滋
特集：愛知万博のエネルギー・交通の新技術 3. 実用線として開業を迎える磁気浮上式鉄道「リニモ」(HSST)の概要	電気学会誌 2004 Vol.124 No.8 工藤 健一
学生のページ：超電導磁気浮上式鉄道の電力供給システム	北野 淳一, 電気学会誌 2004 Vol.124 No.8
技術探索：磁気センサ技術の変遷	脇若 弘之, 電気学会誌 2004 Vol.124 No.1
十見百聞：新型車両の実験が進む磁気浮上式鉄道 山梨実験線	井上 明子, 菅原 俊晴, 関口 大介, 土屋 有賢, 村上 俊之 電気学会誌 2004 Vol.124 No.1
技術探索：バーコードリーダの変遷とその将来	平本 純也, 電気学会誌 2003 Vol.123 No.4
特別講演：リニアモーターカーについて	野中 作太郎, 産業応用部門大会 2002
特集：磁気浮上鉄道の最新動向 1. 21世紀の交通輸送システムとしての磁気浮上鉄道 2. 超電導磁気浮上式鉄道の開発 3. HSSTシステムの開発と実用化動向 4. ドイツの磁気浮上鉄道トランスラピッドの開発現状と実用線計画 5. 海外における磁気浮上鉄道開発と実用化動向	電気学会誌 2001 Vol.121 No.10 正田 英介 長田 豊, 古木 勉 村井 宗信 ディーター・ログ, ミハエル・ヴィット 翻訳:大崎 博之 古閑 隆章
解説：拡大するリニアモータ駆動の工作機械	水野 勉, 電気学会誌 2001 Vol.121 No.9
十見百聞：宇宙の神秘に挑む「すばる」望遠鏡 国際天文台ハワイ観測所を訪ねて	羽根 一博, 佐々木 実, 電気学会誌 2001 Vol.121 No.1

特集：マイクロマシン実用化の現状と将来 1. 特集号に寄せて 4. 走査型プローブ顕微鏡用プローブ 7. 磁気ディスク装置用マイクロアクチュエータ	電気学会誌 2000 Vol.120 No.11 藤田 博之 安宅 龍明, 新輪 隆 中村 滋男, 三枝 省三
特集：広がる超電導技術応用 2. 開発が進む超電導磁気浮上式鉄道	電気学会誌 2000 Vol.120 No.4 澤田 一夫
「リニアモータ・アクチュエータ」特集号（7件） 特集解説 小形リニアモータの技術動向 リニアモータを利用した輸送システムの現状と展望	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 2000 Vol.120 No.4 脇若 弘之 水間 毅
特集：電磁界を利用した材料プロセッシング 2. 電磁界の駆動・制動機能を利用した材料プロセッシング 3. 電磁浮揚機能を利用した金属の新しいプロセッシング技術 6. 板ガラス製造プロセスにおける磁界の利用	電気学会誌 1999 Vol.119 No.4 藤崎 敬介 竹内 栄一 伊賀 元一
特集：街作りで脚光を浴びる新交通システム 2. リニア地下鉄－東京都営地下鉄12号線－ 4. いろいろな都市交通システムの比較	電気学会誌 1999 Vol.119 No.3 堀内 俊夫 水間 毅, 松本 陽
「リニアドライブ」特集号（7件） 特集解説：リニアドライブ (I) 産業用リニアドライブ技術の応用動向 (II) 磁気浮上系における非線形技術 Interview：ドイツにおける磁気浮上鉄道営業線計画 Dornier System Consult社のD.Rogg氏に聞く	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1999 Vol.119 No.3 苅田 充二 引原 隆士 大崎 博之, 水間 毅 電気学会誌 1998 Vol.118 No.9
特集解説：産業応用分野における超電導応用技術 I.超電導磁気浮上式鉄道のための浮上技術の動向 II.高温超電導材料の磁気浮上システムへの応用	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1998 Vol.118 No.5 村井 敏昭, 藤原 俊輔 大崎 博之
特集：マイクロマシン 1. 特集にあたって 2. マイクロアクチュエータと分布型機械 学生のページ：夢を乗せて走れ!中央新幹線	電気学会誌 1997 Vol.117 No.12 江刺 正喜 藤田 博之 紙屋 雄史, 薮内 靖子, 電気学会誌 1996 Vol.116 No.12
土見百聞：都市内を走れ!磁気浮上鉄道 ～名古屋実験線でHSSTに試乗～	松村 年郎, 電気学会誌 1996 Vol.116 No.7
解説：リニアドライブのための最新のセンシング技術とセンサレス化の目指す動向	久保田 寿夫, 渡辺 利彦 電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1996 Vol.116 No.7
特集：無重力実験研究の現状 6. 高温超電導体の磁気浮上・吸引効果の観察 解説：ロープレスエレベータは可能か 基調講演10：リニアドライブ技術委員会は何をしてきたか	電気学会誌 1996 Vol.116 No.3 本間 工士 海老原 大樹, 正田 英介, 電気学会誌 1995 Vol.115 No.7 山田 一, 第7回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム 1995
解説：リニアドライブを支える技術－センサと支持技術－ I.リニアドライブ技術を支えるセンサ技術 II.リニアドライブと支持機構	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1995 Vol.115 No.6 脇若 弘之 中川 聡子
「リニアドライブと関連技術」特集号（23件） 特集解説：電磁駆動型人工心臓－開発の現状 I.人工心臓とは II.電磁駆動型人工心臓 III.人工心臓駆動電磁アクチュエータ IV.血液ポンプと人工弁 V.経皮的エネルギー伝送と光テレメトリ VI.人工心臓評価および今後の開発目標	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1995 Vol.115 No.3 山田 一, 小林 学 山本 行雄, 苅田 充二 海老原 大樹, 脇若 弘之 山口 昌樹, 妙中 義之 越地 耕二, 三田村 好矩 福永 信太郎, 松浦 雄一郎
解説：磁気軸受とその関連技術 I.制御形磁気軸受とその応用 II.超電導を用いた磁気軸受とその応用	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1994 Vol.114 No.12 松村 文夫 福山 寛正, 村上 雅人
解説：産業界における無人搬送設備 III.軌道式搬送設備	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1994 Vol.114 No.2 井上 宏治
解説：新時代を迎える都市交通システム －人にやさしい交通システムをめざして－ II.新輸送システムの具体例とその特徴 第1章 リニアモータ駆動/磁気浮上システム	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1993 Vol.113 No.6 水間 毅
「リニアモータとその応用」特集号（16件） 特集解説：リニアドライブとその応用	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1992 Vol.112 No.12 野中 作太郎
特集：21世紀のパワーエレクトロニクス IV. 宇宙時代とパワーエレクトロニクス 第3章 宇宙時代に果たすパワーエレクトロニクスの役割	電気学会誌 1992 Vol.112 No.9 木村 軍司
小特集：リニアモータのFAへの応用	電気学会雑誌 1992 Vol.112 No.4

I. 総論	海老原 大樹, 鹿野 快男
II. リニアモータの機械装置への応用	水野 勉, 山本 睦
III. リニアモータの物流システムへの応用	梶岡 守正
IV. 特殊搬送システムへの応用	小豆澤 照男, 岩花 武彦
V. リニアモータの新しい応用	川西 利昌, 宮下 邦夫
VI. リニアモータシステムを支える要素技術の動向	荻田 充二, 脇若 弘之
ニ解説：超電導電磁推進実験船ヤマト-1	竹澤 節雄, 電気學會雑誌 1991 Vol.111 No.8
小特集：超電導磁気浮上式鉄道	電気學會雑誌 1991 Vol.111 No.6
I. 展望	松田 和久
II. 超電導磁気浮上システム	藤江 恂治
III. 推進・浮上技術	藤原 俊輔
IV. 電力供給システム	池田 春男
V. 超電導磁石と冷凍システム	中島 洋
VI. ガイドウェイと分岐装置	松浦 章夫
VII. 環境への適合評価	藤江 恂治
VIII. 超電導磁気浮上式鉄道の安全システム	関 秋生
ニ解説：実用化が始まった磁気軸受 - 新しい構想の非接触ベアリング -	松村 文夫, 電気學會雑誌 1991 Vol.111 No.3
ニ解説：地下鉄電車のリニアモータ	畚野 信弘, 電気學會雑誌 1990 Vol.110 No.11
「特集：最近の制御理論とその応用 - ますます実用が広がる現代制御理論 -」の読み方 IV. 応用	電気學會雑誌 1990 Vol.110 No.8
第2章 磁気浮上システムのH[∞]制御	藤田 政之, 松村 文夫
第3章 光ディスク駆動装置のアクセス制御	小川 雅晴
「リニアモーター実用化の動向」特集号（2件） 特集解説：リニアモーター実用化の動向	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1990 Vol.110 No.1 正田 英介, 北野 忠美, 水間 毅, 藤原 俊輔
小特集：産業におけるリニアモータ・アクチュエータの利用動向と展望	電気學會雑誌 1989 Vol.109 No.9
I. 産業におけるリニアモータの応用「総論」	正田 英介, 海老原 大樹
II. FAおよび製品輸送への応用	荻田 充二
III. 半導体製造プロセスへの応用	松田 隆一
IV. 粉体製品プロセスへの応用	米澤 栄一
V. 鉄鋼プロセスへの応用	片岡 冬里, 米山 泰章
VI. 落下式無重力試験装置への応用	吉田 欣二郎
リニアドライブ技術委員会及び関連調査専門委員会活動報告	正田英介, 野中作太郎, 松村文夫 リニアドライブ研究会資料 1989 LD-89-9
「磁気浮上・リニアドライブ」特集号（11件） 特集解説：リニアドライブシステムと磁気浮上	電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1988 Vol.108 No.5 正田 英介
特集解説：可変空けき形電磁アクチュエータと静電形アクチュエータ - 新しいアクチュエータの展望 -	堀 洋一, 藤田 博之 電気学会論文誌. D, 産業応用部門誌 1987 Vol.107 No.6
小特集：超電導応用の新しい話題 VII. 船舶電磁推進	電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.10 斉藤 龍生, 黒石 一夫
解説：実用化が進むリニア電磁アクチュエータ	山田 一, 海老原 大樹, 脇若 弘之, 川西 利昌 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.8
学生欄：磁気浮上式鉄道とサイクロンバータ	大武 敏美, 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.8
ニ解説：磁気浮上無じん搬送システム	小豆沢 照男, 植村 宏治, 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.7
ニ解説：微小変位制御用圧電セラミックアクチュエータ	高橋 貞行, 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.6
解説：西ドイツの磁気浮上式鉄道の開発動向	吉田 欣二郎, 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.2
ニ解説：超電導磁気浮上式鉄道	澤田 一夫, 電気學會雑誌 1986 Vol.106 No.1
技術レポート：磁気浮上鉄道国際会議開催報告	正田 英介, 電気學會雑誌 1985 Vol.105 No.12
特集：ハイテクの電気エネルギー技術への応用 V. パワーエレクトロニクス 第3章 浮上式鉄道	電気學會雑誌 1985 Vol.105 No.11 北本 満雄, 川島 眞生, 池田 春男
小特集：超電導応用技術 - 現状と将来展望 - III. 一磁気浮上列車 -	電気學會雑誌 1984 Vol.104 No.1 京谷 好泰
小特集：鉄道の高速度 V. 新しい高速鉄道 第1章 超電導誘導反発方式 第2章 常電導吸引制御方式 第3章 真空チューブ電気鉄道の提案	電気學會雑誌 1982 Vol.102 No.10 佐々木 貢 正田 英介 丸山 信昭
ニ解説：リニア磁気アクチュエータの最近の動き	山田 一, 電気學會雑誌 1982 Vol.102 No.10
小特集：実現した新交通システム - 中量軌道システム - I. 新交通システム - その夢と現実	電気學會雑誌 1982 Vol.102 No.1 井口 雅一
ニ解説：連続鑄造設備と電磁かくはん装置	南波 正直, 電気學會雑誌 1981 Vol.101 No.62
小特集：磁気浮上式鉄道	電気學會雑誌 1979 Vol.99 No.9

I. 我が国における磁気浮上式鉄道開発の現状と将来展望	榎本 則夫
II. 超電導磁気浮上式鉄道	宮崎 邦夫, 井上 等, 前川 典生
III. 常電導磁気浮上式鉄道	
A. 低公害鉄道(吸引式)	山村 昌, 大西 公平
B. 日航HSST(吸引式)	日笠 佳郎
C. 直流リニアモータ	梅森 肅
IV. 海外における磁気浮上式鉄道開発の現状	京谷 好泰
学生欄：リニアモータの産業分野への応用	保持 龍太郎, 電気學會雑誌 1978 Vol.98 No.4
ミニ解説：電磁ポンプの新しい応用について	菊地 新喜, 電気學會雑誌 1977 Vol.97 No.9
解説：浮上式鉄道宮崎実験線	京谷 好泰, 電気學會雑誌 1977 Vol.97 No.8
ミニ解説：磁気浮上研究開発の現状と見通し	山村 昌, 電気學會雑誌 1976 Vol.96 No.10
特集：最近の回転機	
IV. 回転機の数理解析	電気學會雑誌 1976 Vol.96 No.5
第2章 リニアモータの特性解析	小貫 天
技術総説：車両の磁気浮上の現状と問題点	山村 昌, 電気學會雑誌 1974 Vol.94 No.8
特集：電気工学における極低温技術	電気學會雑誌 1974 Vol.94 No.5
8. 超高速鉄道への応用	京谷 好泰
学生欄：電気今昔物語 III. 鉄道電化の始めから超高速鉄道まで	関 四郎, 電気學會雑誌 1974 Vol.94 No.2
解説：超高速列車の磁気軌道	山村 昌, 電気學會雑誌 1971 Vol.91 No.12
講演：超高速鉄道について	京谷 好泰, 電気學會雑誌 1971 Vol.91 No.4
ミニ解説：動力装置として期待されるリニアモータ	宇佐美 吉雄, 電気學會雑誌 1970 Vol.90 No.6
解説：リニアモータとその応用	曾小川 久和, 保川 忍, 電気學會雑誌 1968 Vol.88 No.954

Last Update: 06/04/2016 18:04

優秀論文発表賞

- 未来へつながる賞
- 研究会発表件数に基づいて分配される！

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ研究会優秀論文発表賞受賞者

※[H2](#)～創立100周年記念事業・学術振興基金による。 [H15](#)～産業応用部門優秀論文発表賞（研究会）。

H2	出口洋成（東京大学）LD-90-38, 畠 一尋（金沢大学）LD-90-71
H3	亀岡陽子（日立研究所）LD-91-102, 水野 勉（アマダ）LD-91-8, 度会 明（信州大学）LD-91-13
H4	引原隆士（関西大学）LD-92-43, 村井敏昭（鉄道総合技術研究所）LD-92-91
H5	大崎博之（東京大学）LD-93-93, 和多田雅哉（武蔵工業大学）LD-93-3
H6	磯部真一（金沢大学）LD-94-74, 鈴木健治（信州大学）LD-94-65, 鈴木晴彦（いづき明星大学）LD-94-114
H7	栗山 保（信州大学）LD-95-33, 小林 学（信州大学）LD-95-55
H8	本多精二（早稲田大学）LD-96-102, 下畑賢司（三菱電機）LD-96-4, 大橋俊介（東京大学）LD-96-83
H9	長谷川均（鉄道総合技術研究所）LD-97-9, 関 一栄（武蔵工業大学）LD-97-119
H10	上條弘貴（鉄道総合技術研究所）LD-98-4, 長嶋 賢（鉄道総合技術研究所）LD-98-60
H11	望月 大（信州大学）LD-99-48, 山下 誠（東京理科大学）LD-99-154
H12	上野敏幸（東北大学）LD-00-52, 森田 剛（理化学研究所）LD-00-120
H13	長谷川祐也（松下電工）LD-01-95, Robert Early（東京大学）LD-01-69
H14	竹内敏恵（三菱電機）LD-02-108, 阿部祥知（東京大学）LD-02-119
H15	岡田智恭（千葉大学）LD-03-50
H15D	横山智紀（信越化学）LD-03-79, 柴 建次（東京理科大学）LD-03-51, 品川俊之（武蔵工業大学）LD-03-85
H16	大内克洋（東京医科歯科大学）LD-04-73, 多田清和（武蔵工業大学）LD-04-28
H16D	古田浩次（佐賀大学）LD-04-36, 村上倫子（茨城大学）LD-04-72
H17	福長一義（東京電機大学）LD-05-47, 本多由佳利（武蔵工業大学）LD-05-59
H17D	星 英男（東京医科歯科大学）LD-05-45, 坂本泰明（J R 東海／鉄道総合技術研究所）LD-05-77
H18	宮川純一（金沢大学）LD-06-76
H18D	神崎泰典（大阪大学）LD-06-75, 住倉博仁（東京電機大学）LD-06-48, 飯塚昭人（福島工業高等専門学校）LD-06-14
H19	関野正樹（東京大学）LD-07-6
H19D	ト 穎剛（信州大学）LD-07-4, 三島将行（大阪大学）LD-07-15
H20	村松雅理（大阪大学）LD-08-64, 山本晃弘（京都大学）LD-08-6
H20D	佐藤健生（福島工業高等専門学校）LD-08-11, 板坂直樹（武蔵工業大学）LD-08-92
H21	洪セラ/Sara Hong（大阪大学）LD-09-48
H21D	Farah Hanim binti Mukhtar（福島工業高等専門学校）LD-09-16, 永田 透（慶應義塾大学）LD-09-52
H22	鈴木憲史（東京都市大学）LD-10-4, 広瀬高峰（東京都市大学）LD-10-7
H22D	田邊政彦（安川電機）LD-10-2
H23	堺谷 洋（大阪大学）LD-11-63, 塚野聖仁（大阪大学）LD-11-64
H23D	堀尾達也（信州大学）LD-11-5, 上田靖人（東芝）LD-11-61, 西村宣彦（茨城大学）LD-11-76
H24	Ariff Zaini（大阪大学）LD-12-56
H24D	朝間淳一（静岡大学）LD-12-103, 谷内慎太郎（信州大学）LD-12-2, 吉澤佳祐（鉄道総合技術研究所）LD-12-89
H25	加藤雅之（大阪大学）LD-13-106, 中岩浩一（多摩川精機）LD-13-15
H25D	山本隆彦（東京理科大学）LD-13-86, 丸野将太郎（信州大学）LD-13-40, 米津武則（鉄道総合技術研究所）LD-13-9
H26	太田 聡（鉄道総合技術研究所）LD-14-026
H26D	下屋直人（豊田工業大学）LD-14-034, 宇賀治 元（大阪大学）LD-14-051, 江口朋子（東芝）LD-14-099, 星 俊行（安川電機）LD-14-022
H27	岸田和也（東洋電機製造）LD-15-008, 小田原峻也（豊田工業大学）LD-15-060
H27D	西浦悠介（大阪大学）LD-15-053, 新田隼也（大阪大学）LD-15-027

リニアドライブ若手研究者優秀論文発表賞受賞者（若手研究者シンポジウム）

1992/7/16-17	第4回 中部大学研修センター@武並 Program
1993/7/15-16	第5回 関西大学飛鳥文化研究所 Program
H5youth	大石由紀子（武蔵工業大学）, 野島俊則（神鋼電機）
1994/7/21-22	第6回 大阪工大摂南大学セミナーハウス「白馬山の家」
H6youth	武南宏治（東京大学）
1996/2/8-9	リニアドライブ研究会（若手）@山梨リニア実験線 Program
1997/1/23	リニアドライブ研究会（若手）@山梨リニア実験線 Program

Last Update: 04/23/2016 20:51

研究会

- 年間予定一覧, [申込リンク](#)
- 開催一覧 (プログラム)
 - 1988～1999 xlsx(武蔵工業大学DBより)
 - 2000～ 学会HP
- 研究会資料
 - 1988～2004 J-GLOBAL,CiNii
 - 2005～ IEEJ DIGITAL LIBRARY(有料)
- MAG資料(～1988)収集・公開できないか

取扱う主な研究分野

改訂案 2015/2/23,25

1. リニアモータ（リニアモータ，リニア同期モータ，リニア誘導モータ，リニア直流モータ，リニアリラクタンスモータ，リニア発電機）
2. 多次元・新世代アクチュエータ（リニア電磁アクチュエータ，平面モータ，球面モータ，非電磁アクチュエータ）
3. 磁気支持・磁気（動力）伝達（制御式磁気支持，誘導式磁気支持，磁気軸受，非電磁支持，磁気ギア，ベアリングレスモータ）
4. 解析手法（電磁界解析，運動解析，電磁流体運動解析）
5. 電磁材料（永久磁石，超電導材，圧電材，軟磁性材，磁歪材）
6. システム技術（センサ・コントローラ・ドライバ・電源，特性表示，評価手法）
7. 医用アクチュエーション技術（人工心臓，ME機器，細胞操作作用MEMS，医用エネルギー伝送，電池）
8. 非接触給電・集電（電磁誘導式，共鳴式，電界結合式，マイクロ波式）
9. リニアドライブ応用技術（電磁攪拌，電磁分離ほか）
10. その他関連事項

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)**リニアドライブ LD(Linear Drives) 取扱う主な研究分野**

1. リニアモータ(リニアモータ, リニア同期モータ, リニア誘導モータ, リニア直流モータ)
Linear Motor (Linear Motor, Linear Synchronous Motor, Linear Induction Motor, Linear DC Motor)
2. 多次元・新世代アクチュエータ (リニア電磁アクチュエータ, 平面モータ, 球面モータ, 非電磁アクチュエータ)
Multi-Degree-of-Freedom Actuator and New-Principle Actuator (Electromagnetic Actuator and Non-Electromagnetic Actuator, Planar Motor, Spherical Motor)
3. 磁気浮上(吸引, 反発浮上, 磁気軸受)
Magnetic Levitation (Electromagnetic Suspension, Electrodynamic Suspension, Magnetic Bearing)
4. 各種の解析手法(電磁界解析, 運動解析, 電磁流体運動解析)
Analysis Methods (Magnetic Field Analysis, Motion Analysis, Magnetic Fluid Analysis)
5. 材料技術(永久磁石材, 超電導材, 支持機構, 圧電材料)
Material Technology (Permanent Magnet, Superconducting Material, Piezoelectric Material)
6. システム技術(センサ・コントローラ・ドライバ・電源, 特性表示, 評価手法)
System Technology (Sensor/Control/Driver/Power Source, Performance, Evaluation)
7. 医用アクチュエーション技術(人工心臓, ME機器, 細胞操作用MEMS, 医用エネルギー伝送, 電池)
Medical Actuation (Artificial Heart, ME device, MEMS, Energy Transmission, Battery)
8. リニアドライブ応用技術(主として共通的又は基礎的技術)
Application Technology
9. その他関連事項

改訂案 2015/2/23,25

1. リニアモータ (リニアモータ, リニア同期モータ, リニア誘導モータ, リニア直流モータ, リニアリラクタンスモータ, リニア発電機)
Linear Motor (Linear Motor, Linear Synchronous Motor, Linear Induction Motor, Linear DC Motor, Linear Reluctance Motor, Linear Generator)
2. 多次元・新世代アクチュエータ (リニア電磁アクチュエータ, 平面モータ, 球面モータ, 非電磁アクチュエータ)
Multi Degree of Freedom Actuator and New Principle Actuator (Electromagnetic Actuator, Planar Motor, Spherical Motor, Non Electromagnetic Actuator)
3. 磁気支持・磁気(動力)伝達(制御式磁気支持, 誘導式磁気支持, 磁気軸受, 非電磁支持, 磁気ギア, ベアリングレスモータ)
Magnetic Suspension, Magnetic Drive, Magnetic Traction, Magnetic Transmission (Active Magnetic Suspension, Electro Magnetic Suspension, Electro Dynamic Suspension, Magnetic Bearing, Non Electromagnetic Suspension, Magnetic Gear, Bearingless Motor, Self Bearing Motor)
4. 解析手法 (電磁界解析, 運動解析, 電磁流体運動解析)
Analysis Method and Simulations (Electromagnetic Analysis, Motion Analysis, Magnetic Fluid Analysis)
5. 電磁材料 (永久磁石, 超電導材, 圧電材, 軟磁性材, 磁歪材)
Electromagnetic Material (Permanent Magnet, Superconducting Material, Piezoelectric Material, Soft Magnetic Material, Magnetostrictive Material)
6. システム技術 (センサ・コントローラ・ドライバ・電源, 特性表示, 評価手法)
System Technology (Sensor, Control, Driver, Power Source, Performance, Evaluation)
7. 医用アクチュエーション技術 (人工心臓, ME機器, 細胞操作用MEMS, 医用エネルギー伝送, 電池)
Medical Actuation Technology (Artificial Heart, ME device, MEMS, Energy Transmission, Battery)
8. 非接触給電・集電(電磁誘導式, 共鳴式, 電界結合式, マイクロ波式)
Non Contact Power Supply Non Contact Power Transmission (Electromagnetic Induction type, Transformer type, Electromagnetic Resonant type, Electrically Coupled Resonant type, Microwave type)
9. リニアドライブ応用技術 (電磁攪拌, 電磁分離ほか)
Application Technology (Electromagnetic Stirrer, electromagnetic separator etc)
10. その他関連事項

*適切な用語がありましたらご連絡ください。 [MAIL](#)

Last Update: 04/23/2016 20:50

専門委員会

- MAG時代からの全専門委員会一覧
 - 設置期間，報告形態
 - 技術報告，単行本，研究会，シンポジウム
 - 多自由度MDD 上田委員長によるまとめ
 - 産業用MEL リンク集
 - 磁気浮上MLV ⇔日本機械学会
 - 解析・評価MMA ⇔日本磁気学会
- 3～4専門委員会の維持・拡大
 - 制御，超電導，縦型→構造物，人工心臓→医用

リニアドライブ技術委員会傘下の調査専門委員会・協同研究委員会の変遷

2016年4月15日

凡例 委員会ID／委員会名称…(調)：調査専門委員会、(協)：協同研究委員会、LM：リニアモータ、LD：リニアドライブ、A：アクチュエータ／委員長／報告形態

年 月	LD / MAG	搬送、産業用	制御	磁気浮上	超電導	解析	縦型、多自由度	医用
1979		成田賢仁						
1980 6		MAG						
1981		磁気A(調)						
1982		山田一						
1983 5		書籍:リニアモータとその応用						
1984 6		MAG						
1985		リニア電磁A(調)						
1986 5		山田一						
1987 10	正田英介	MAG-86-25～41						
1988 4		AMAG1005→LD移管						
1989 3		リニア電磁駆動システム(調)						
1990 3		正田英介						
1991 3		技術報告314						
1992 3		DLD1007						
1993 1	白江公輔	LM FA応用(調)						
1994 3	野中作太郎	海老原大樹						
1995 3		LD-91-37～41						
1996 1		DLD1013						
1997 3	山田一	搬送システム用LM(調)						
1998 3		海老原大樹						
1999 3		技術報告467						
2000 3		DLD1023						
2001 3		搬送用LM応用技術(調)						
2002 3		刃田充二						
2003 3		LD-95-35～41						
2004 3	海老原大樹							
2005 3		DLD1035						
2006 3		搬送用リニアメカニズム(調)						
2007 3		刃田充二						
2008 3		技術報告657						
2009 3	松村文夫							
2010 3		DLD1045						
2011 3		搬送用リニア位置決めシステム(調)						
2012 3		大平庸一						
2013 3		技術報告732						
2014 3		DLD1055						
2015 3		リニア搬送システムの高機能化技術(調)						
2016 3		大平庸一						
2017 3		技術報告846						
2018 3		DLD1067						
2019 3		産業用リニア駆動システムの評価技術(調)						
2020 3		水野勉						
2021 3		技術報告930						
2022 3		DLD1077						
2023 3		産業用LMの特性測定法と評価方法(調)						
2024 3		水野勉						
2025 3		技術報告1024						
2026 3		DLD1083						
2027 3		産業用リニア駆動システムの要素技術(調)						
2028 3		鳥居庸						
2029 3		技術報告1154						
2030 3		DLD1091						
2031 3		産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化(調)						
2032 3		鳥居庸						
2033 3		技術報告1195						
2034 3		DLD1097						
2035 3		産業用LD技術と応用の変遷(調)						
2036 3		渡邊利彦						
2037 3		技術報告1259						
2038 3		DLD1103						
2039 3		産業用LD技術の応用展開(調)						
2040 3		矢島久志, 小林学						
2041 3		技術報告1368						
2042 3		DLD1109						
2043 3		産業用LDの活用技術(調)						
2044 3		矢島久志						
2045 3								
2046 3								
2047 3								
2048 3								
2049 3								
2050 3								
2051 3								
2052 3								
2053 3								
2054 3								
2055 3								
2056 3								
2057 3								
2058 3								
2059 3								
2060 3								
2061 3								
2062 3								
2063 3								
2064 3								
2065 3								
2066 3								
2067 3								
2068 3								
2069 3								
2070 3								
2071 3								
2072 3								
2073 3								
2074 3								
2075 3								
2076 3								
2077 3								
2078 3								
2079 3								
2080 3								
2081 3								
2082 3								
2083 3								
2084 3								
2085 3								
2086 3								
2087 3								
2088 3								
2089 3								
2090 3								
2091 3								
2092 3								
2093 3								
2094 3								
2095 3								
2096 3								
2097 3								
2098 3								
2099 3								
2100 3								
2101 3								
2102 3								
2103 3								
2104 3								
2105 3								
2106 3								
2107 3								
2108 3								
2109 3								
2110 3								
2111 3								
2112 3								
2113 3								
2114 3								
2115 3								
2116 3								
2117 3								
2118 3								
2119 3								
2120 3								
2121 3								
2122 3								
2123 3								
2124 3								
2125 3								
2126 3								
2127 3								
2128 3								
2129 3								
2130 3								
2131 3								
2132 3								
2133 3								
2134 3								
2135 3								
2136 3								
2137 3								
2138 3								
2139 3								
2140 3								
2141 3								
2142 3								
2143 3								
2144 3								
2145 3								
2146 3								
2147 3								
2148 3								
2149 3								
2150 3								
2151 3								
2152 3								
2153 3								
2154 3								
2155 3								
2156 3								
2157 3								
2158 3								
2159 3								
2160 3								
2161 3								
2162 3								
2163 3								
2164 3								
2165 3								
2166 3								
2167 3								
2168 3								
2169 3								
2170 3								
2171 3								
2172 3								
2173 3								
2174 3								
2175 3								
2176 3								
2177 3								
2178 3								
2179 3								
2180 3								
2181 3								
2182 3								
2183 3								
2184 3								
2185 3								
2186 3								
2187 3								
2188 3								
2189 3								
2190 3								
2191 3								
2192 3								
2193 3								
2194 3								
2195 3								
2196 3								
2197 3								
2198 3								
2199 3								
2200 3								
2201 3								
2202 3								
2203 3								
2204 3								
2205 3								
2206 3								
2207 3								
2208 3								
2209 3								
2210 3								
2211 3								
2212 3								
2213 3								
2214 3								
2215 3								

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ関連 書籍

電気工学ハンドブック（第7版） 16編 リニアモータ・磁気浮上
2013 [オーム社](#), [amazon](#)

次世代アクチュエータ 原理と設計法（平田勝弘）
2013 [科学技術出版](#), [amazon](#)

[特許流通支援チャート 電磁リニアモータ](#)(6.4M)
2006 工業所有権情報・研修館

電磁駆動型人工心臓（電磁駆動型人工心臓システム調査専門委員会）
1994 [コロナ社](#), [amazon](#)

リニアモータを使ってみるとー誰でも利用できる開発ノート（山田一）
1994 日刊工業新聞社, [amazon](#)

磁気浮上と磁気軸受（磁気浮上応用技術調査専門委員会）
1993 [コロナ社](#), [amazon](#)

磁気浮上鉄道の技術（正田英介ほか）
1992 [オーム社](#), [amazon](#)

リニアドライブ技術とその応用（正田英介）
1991 [オーム社](#), [amazon](#)

リニアモータ応用ハンドブック（山田一）
1986 工業調査会, [amazon](#)

リニアモータとその応用（磁気アクチュエータ調査専門委員会）
1984 電気学会, [amazon](#)

リニアモータと応用技術（山田一）
1976 実教出版, [amazon](#)

Last Update: 12/26/2015 09:59

大会シンポジウム

- 1987以降の開催記録
- ～2000 J-GLOBAL
 - 一般論文との分類が不完全
- 2000～ IEEJ DIGITAL LIBRARY
- 一部未確認資料の収集
- 本部の開催記録充実を望む
 - 土木学会は全国大会全記録公開

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

リニアドライブ関連 電気学会全国大会・産業応用部門大会シンポジウム

※3-4月：全国大会，8-9月：部門大会，調：調査専門委員会，協：協同研究委員会，XXX：委員会略称，資料検索 ～2000 J-GLOBAL，2000～ [IEEJ DIGITAL LIBRARY](#)

2016 H28.3	東北大	...	...
2015 H27.9	大分大	産業用リニアドライブの活用技術（調）MEL	S10 最新！リニアモータ応用の状況2015
2015 H27.3	東京都市大	電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術（調）MMA	S22 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術
2014 H26.8	東京電機大	多自由度新世代アクチュエータの性能評価（調）MDD	S5 新世代アクチュエータの1自由度系の性能評価と多自由度系の評価に向けて
2014 H26.3	愛媛大	産業用リニアドライブ技術の応用展開（調）MEL	S.24 リニアドライブ技術および応用事例紹介～企業におけるリニアモータ開発動向～
2013 H25.8	山口大	環境調和型磁気支持応用技術の体系化（調）MLV	S.11 環境調和型磁気支持応用技術の現状
2013 H25.3	名古屋大	...	...
2012 H24.8	千葉工大	産業用リニアドライブ技術の応用展開（調）MEL	S.2 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷
2012 H24.3	広島工大	新世代アクチュエータの多自由度化可能性（調）MDD	S.16 新世代アクチュエータの多自由度化可能性について
2011 H23.9	琉球大	環境調和型磁気支持応用技術（調）MLV	S.4 磁気支持応用技術と環境調和
2011 H23.3	大阪大	リニアドライブ技術委員会	S.19 リニアドライブ技術のこれまでとこれから
2011 H23.3	大阪大	医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する（協）ECD	S.13 電気工学と人工臓器－命をつなぐ電磁応用技術－
2010 H22.8	芝浦工大	新世代の電気・磁気アクチュエータ（調）MDD	S.2 新世代の電気・磁気アクチュエータ
2010 H22.3	明治大	...	...
2009 H21.8	三重大	産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化（調）MEL	S.11 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術とその応用
2009 H21.8	三重大	医用アクチュエーション技術の体系化に関する（協）ECD	O.1 医用アクチュエーション技術の最先端
2009 H21.3	北海道大	...	...
2008 H20.8	高知	多自由度モータのシステム化技術（調）MDD	S.4 多自由度モータとその要素技術
2008 H20.3	福岡工大	磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術（調）MLV	S.19 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術の動向
2007 H19.8	大阪工大	医用アクチュエーション技術の体系化に関する（協）ECD	S.6 医用アクチュエーション技術の実際
2007 H19.3	富山大	リニア電磁駆動装置解析手法の体系化（調）LMD	S.21 リニア電磁駆動装置解析手法の体系とその動向
2006 H18.8	名工大	産業用リニア電磁駆動システムの要素技術（調）MEL	S.10 ここまで出来る！リニア駆動システム
2006 H18.8	名工大	多自由度モータのシステム化技術（調）MDD	O.3 プレクスルーを生み出す次世代アクチュエータ
2006 H18.3	横浜国立大	多自由度モータのシステム化技術（調）MDD	S.20 多自由度モータとその要素技術の研究動向－実用化を目指して－
2005 H17.8	福井大	磁気支持応用機器の高機能化（協）MLV	S.7 磁気支持応用機器の実用化と新展開
2005 H17.3	徳島大	超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度（調）SLD	S.21 超電導磁気浮上式鉄道の現状－5か年計画を終えて－
2004 H16.9	高松	医用電磁駆動システム産業振興のための（協）ECD	S14 臨床応用をめざす人工心臓の開発最前線
2004 H16.3	青山学院大	産業用リニアモータの特性測定法と評価方法（調）MEL	S.20 産業用リニアモータの特性測定法と評価方法
2003 H15.8	東京工科大	多次元ドライブシステム（調）MDD	S2 多次元ドライブシステムの現状と将来展望
2003 H15.3	東北学院大	磁気支持応用機器におけるダイナミクス（調）MLV	S.19 磁気支持応用機器における最近の開発動向
2002 H14.8	鹿児島大	汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術（調）SEL	S.4 リニアドライブのサーボ制御とセンサ技術
2002 H14.3	工学院大	リニアドライブシステムの連成解析手法（調）LMD	S.22 リニアドライブシステムの数値解析に関わる動向とその解析例
2001 H13.8	松江	超電導磁気浮上方式鉄道の高性能化技術（調）SLD	S.9 浮上式鉄道の現状
2001 H13.3	名古屋大	医用応用電磁駆動システムの実用化に関する（協）ECD	S.17 本邦における電磁駆動型人工心臓の研究・開発の現況
2000 H12.8	徳島	リニア輸送システムの高機能化技術（調）TLP	S9 リニア輸送システムの高機能化技術
2000 H12.3	東京工大	磁気浮上系における非線形技術（調）MLV	S.27 磁気で浮したものを動かす！回す！－磁気浮上系における非線形技術－
1999 H11.8	長崎	リニア電磁駆動装置設計技術の高度化（調）LMD	S.2 リニア電磁駆動装置の解析と設計の現状
1999 H11.8	長崎	リニアモータのセンシング技術と特性測定法（調）SEL	S.3 リニアモータを高性能に駆動するセンサ・制御システム
1999 H11.3	山口大	超電導リニアドライブ実証技術（調）SLD	S.23 超電導磁気浮上式鉄道の現状と展望
1998 H10.8	秋田	搬送用リニア位置決めシステム（調）TLP	S.10 リニア位置決めシステムの新展開
1998 H10.3	慶應義塾大	磁気浮上実用化技術（調）MLV	S.25 磁気的に物を浮かせる方法－種々の手法とその事例－
1997 H9.8	長岡	小形リニアモータ特性評価（調）LME	S.6 小形リニアモータの特性評価と応用技術の成功例をさぐる
1997 H9.3	同志社大	電磁駆動式血液循環機器（調）ECD	S.20 生命維持を支援する電気関連技術：血液循環を中心に
1996 H8.8	仙台	リニアドライブ応用システム設計技術（調）LMD	S.1 リニア電磁駆動装置の解析における現状と問題
1996 H8.3	早稲田大	搬送用リニアモータ応用技術（調）TLA	S.19 搬送用リニアモータの実用化動向と将来展望
1996 H8.3	早稲田大	超電導リニアドライブのシステム技術（調）SLD	S.20 超電導磁気浮上システムの開発動向と将来展望
1995 H7.8	日立	磁気浮上技術産業応用（調）MLV	S.6 磁気浮上技術を実用化するには何が必要か
1995 H7.3	札幌	リニアモータ駆動人工心臓（調）	S.19 ***人工心臓
1994 H6.8	愛媛大	リニアモータ制御技術（調）LMC	S.10 リニアドライブ・磁気浮上システムにおけるセンサ・制御技術
1994 H6.	成蹊大	...	...
1993 H5.8	東京電機大	搬送システム用リニアモータ（調）TLM	S.11 Linear Drive Technology and Its Industrial Application
1993 H5.3～4	熊本大	縦型リニアドライブ（協）VLD	S.12 ***縦型リニアドライブ
1992 H4.8	名古屋	...	...
1992 H4.3	千葉工大	...	...
1991 H3.8	札幌	超電導リニアドライブ適用性（調）SLD	S.1 リニアモータを利用した輸送システムの実用化の動向
1991 H3.4	金沢大	超電導リニアドライブシステム（調）SLD	S.12 超電導リニアドライブ技術の現状
1990 H2.8	関西大	磁気浮上応用技術（調）MLV	S.1 磁気軸受の理論と開発の現状
1990 H2.8	関西大	リニアドライブ技術委員会	I2 Linear Drives and Maglev
1990 H2.3	武蔵工大	...	...
1989 H1.10	静岡大	電気関係学会東海支部連合大会	S.2 高速リニアモータ鉄道の開発動向
1989 H1.8	福岡	リニアモータ解析手法（調）LMD	S.7 リニアモータの特性解析と設計
1989 H1.4	愛媛大	電磁型人工心臓（調）MAG技術委員会	S.18 人工心臓用電磁アクチュエータの研究開発
1989 H1.4	愛媛大	磁気浮上方式（調）MLV	S.9 磁気浮上技術と応用の現状
1988 S63.8	名古屋	リニア電磁駆動システム（調）	S.6 プロセス産業におけるリニアモータの適用
1988 S63.3	明治大	...	...
1987 S62.3～4	東北大	リニア電磁駆動システム（調）	S.11 リニアドライブシステムの開発動向

Last Update: 06/20/2016 21:51

2016/06/25

新規登録 | ログイン



お知らせ

利用に当たっては、各学会向けにアナウンスしておりますユーザー登録方法に従い、登録をお願いします。
登録をいたしませんと、ユーザー外の価格が適用されます。ご注意ください。

WEKO

トップ

ランキング

🔍 2015-09 s10

詳細検索

☐ 全文検索 ☒ キーワード検索AND AND AND AND AND 年 ~ 年

検索条件を追加

検索

クリア

インデックスツリー

研究会

2010 Korea-Japan Joint Techni

国際会議

全国大会

部門大会

検索結果

1 - 5 of 5 items

チェックしたアイテムをExport

実行

?

表示順 ID (昇順)

表示数 20

☐ [リニアモータの基礎知識](#)[水野 勉](#)

信州大学

【D】平成27年電気学会産業応用部門大会講演論文集,17-20 (2015-09-02), 3-S10-1

[pdf](#)☐ [輸送分野への応用](#)[太田 聡](#)

鉄道総合技術研究所

【D】平成27年電気学会産業応用部門大会講演論文集,21-24 (2015-09-02), 3-S10-2

[pdf](#)☐ [工場内における応用](#)[矢島 久志](#), [森下 明平](#), [星 俊行](#), [河野 巧](#), [杉田 聡](#), [碓賀 厚](#), [栗山 義彦](#), [佐藤海二](#)

SMC, 工学院大学, 安川電機, レニシヨー, 山洋電気, 宇部工業高等専門学校, NEOMAXエンジニアリング, 東京工業大学

【D】平成27年電気学会産業応用部門大会講演論文集,25-28 (2015-09-02), 3-S10-3

[pdf](#)☐ [家電・民生品への応用](#)[高石 陽介](#)

三菱電機

【D】平成27年電気学会産業応用部門大会講演論文集,29-32 (2015-09-02), 3-S10-4

[pdf](#)☐ [医療・福祉分野への応用](#)[仲岩浩一](#), [和多田 雅哉](#)

多摩川精機, 東京都市大学

【D】平成27年電気学会産業応用部門大会講演論文集,33-34 (2015-09-02), 3-S10-5

[pdf](#)

1

プライバシーポリシー お問い合わせ

一般社団法人 電気学会 〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階 Tel.03-3221-7313

Powered by WEKO

SEAD

- 開催経緯・プログラム等一覧 一部未整備
電気学会主催
 - 名古屋, 金沢, 長崎・伊王島, 札幌, 沖縄,
 - 金沢, 神戸, 長野, 富山, 長崎HTB,
 - 2017倉敷
- 過去の論文を公開できないか

[IEEJ/IAS/LD-TC](#)

「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム SEAD

※[Cinii収録論文検索](#) (Symposium on Electromagnetics And Dynamics)

第29回 2017年5月18日-19日	倉敷アイビースクエア	日本AEM学会	Website***
第28回 2016年5月18日-20日	慶応義塾大学 日吉C 協生館	日本機械学会	Website , CFP , Program , Schedule
第27回 2015年5月14日-15日	ハウステンボス	電気学会	Website , CFP , Program , Photo
第26回 2014年5月21日-23日	アイーナ いわて県民情報交流センター	日本AEM学会	Website , Program
第25回 2013年5月15日-17日	箱根ホテル小涌園	日本機械学会	Website , Program
第24回 2012年5月16日-18日	富山国際会議場	電気学会	Website , Program
第23回 2011年5月18日-20日	ウインクあいち 愛知県産業労働センター	日本AEM学会	Website , Program
第22回 2010年5月19日-21日	門司港ホテル	日本機械学会	Website , Program
第21回 2009年5月20日-22日	メルパルク長野	電気学会	Website(archive) , Program
第20回 2008年5月21日-23日	別府国際コンベンションセンター	日本AEM学会	Website(archive) , Program***
第19回 2007年5月17日-19日	早稲田大学国際会議場	日本機械学会	Website(archive) , Program
第18回 2006年5月18日-19日	神戸国際会館	電気学会	Website(archive) , Program
第17回 2005年6月22日-24日	高知市文化プラザかるぽーと	日本AEM学会	Website , Program
第16回 2004年6月9日-11日	北九州国際会議場	日本機械学会	Website(archive) , Program
第15回 2003年5月28日-30日	金沢市観光会館	電気学会	Website(archive) , Program
第14回 2002年5月22日-24日	岡山大学	日本AEM学会	Program , Report
第13回 2001年6月21日-23日	幕張メッセ交際会議場	日本機械学会	Website(archive) , Keynote , Program
第12回 2000年6月29日-7月1日	メルパルク沖縄	電気学会	Website(archive) , Program , Report
第11回 1999年10月13日-15日	横浜シンポジア	日本AEM学会	Website(archive) , Program(archive) , (pdf) , Report
第10回 1998年6月23日-25日	宮城勤労総合福祉センター	日本機械学会	Program , Report
第9回 1997年6月24日-26日	北海道大学学術交流会館	電気学会	Program
第8回 1996年6月29日-31日	北とびあ	日本機械学会	Program , CFP
第7回 1995年5月29日-31日	ルネサンス長崎・伊王島	電気学会	Program , Report
第6回 1994年7月13日-15日	秋田市文化会館	日本機械学会	Program*** , Report
第5回 1993年6月9日-11日	日立シビックセンター	日本機械学会	Program*** , Report & Program
第4回 1992年6月10日-12日	石川県立社会教育センター	電気学会	Program
第3回 1991年6月12日-14日	桐生市地域工場産業振興センター	日本機械学会	Program***
第2回 1990年6月13日-15日	名古屋市工業研究所	電気学会	Program***
第1回 1989年6月26日-28日	裏磐梯国民休暇村	日本機械学会	Program***

Last Update: 05/21/2016 08:32

MAGLEV 1985,1989,1998

- Maglevを冠する会議は1984 Solihullが最初であるが、過去にさかのぼって付番された
- 1977 Boston, 1983 Washingtonは詳細不明
- MAGLEV'98以降日本開催はない
- MAGLEV2016 Berlin
- MAGLEV'93 Proceedings 全文公開
 - SCD(System Concept Definition)
 - Bechtel, Foster-Miller, Grumman, Magneplane,

[IEEE/IAS/LD-TC](#)**Maglev '85, Maglev '89, MAGLEV '98**

Sponsored by IEE Japan

**International Conference on
Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV)****The 23rd International Conference on
Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2016),
Berlin, Germany, September 23-26, 2016.**[Website](#)in cooperation with [InnoTrans Berlin 2016](#).**International Steering Committee**

Chairman: Hiroyuki Ohsaki (The Univ. of Tokyo, Japan)

Former Chairman: Eisuke Masada (RTRI, Japan)

Members:

A.C. Ferreira (UFRJ, Brazil)

K. Woronowicz (Bombardier, Canada)

Lin Guobin (Tongji Univ., China)

L. Yan (Chinese Academy of Sciences, China)

G. Coquery (INRETS, France)

J. Kluhsbies (TH Deggendorf, Germany)

M. Witt (Dornier, Germany)

F. Loeser (ThyssenKrupp Transrapid, Germany)

K. Nagashima (RTRI, Japan)

N. Shirakuni (CJRC, Japan)

D. Ebihara (IEEE Fellow, Japan)

B.C. Shin (KIMM, Korea)

M. Jufer (EPFL, Swiss)

A. Cassat (EPFL, Swiss)

R. Goodall (Loughborough Univ., UK)

L. E. Blow (Maglev Transport, USA)

S. Gurol (GA, USA)

E. Leung (Magtec Eng., USA)

D.M. Rote (ANL, USA)

R. Krishnan (Virginia Tech., USA)

R.F. Post (LLNL, USA)

Past and Future MAGLEV ConferencesThe 22nd International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2014),
Rio de Janeiro, Brazil, September 28 - October 1, 2014.[Website\(archive\)](#), [Program](#)The 21st International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2011),
Daejeon, Korea, October 10-13, 2011.[Website\(archive\)](#), [Program\(text\)](#)The 20th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2008)
San Diego, USA, December 15-18, 2008.[Website\(archive\)](#), [Agenda\(text\)](#), [Report\(in Japanese\)](#)The 19th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2006),
Dresden, Germany, September 13-15, 2006.[Website\(archive\)](#), [Table of Contents](#)The 18th International Conference On Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2004),
Shanghai, China, October 26-28, 2004.[Website\(archive\)](#), [Program](#)The 17th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2002),
Lausanne, Switzerland, September 3-5, 2002.[Website](#), [Program](#)The 16th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV 2000),
Rio de Janeiro, Brazil, June 7-10, 2000.[Website\(archive\)](#), [Table of Contents](#)The 15th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV '98),
Mt. Fuji, Yamanashi, Japan, April 12-15, 1998.[Table of Contents](#), [Report](#)[Cover of Proceedings](#)(1.6M, MLX-01 Aero-Wedge and Double-Cusp)

The 14th International Conference on Magnetically Levitated Systems (Maglev '95)

Bremen, Germany, November 26-29, 1995.

[Table of Contents](#)The 13th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV '93),
Argonne National Laboratory, USA, May 19-21, 1993.[Table of Contents](#), [Proceedings](#)(18MB)

The 12th International Conference,
Lyon, France, June 29 - July 3, 1992.
(joint session with the 6th World Conference on Transport Research),
[Organized Session](#), [Contents of Selected Proceedings](#)

The 11th International Conference on Magnetically Levitated Systems and Linear Drives (MAGLEV '89),
Yokohama, Japan, July 7-11, 1989. (YES'89)
[Table of Contents](#)
[Cover of Proceedings](#)(1.8M, MLU002, HSST-05, TR-07, M-BAHN)

The 10th International Conference on Magnetically Levitated Systems (MAGLEV 1988),
Hamburg, Germany, June 9-10, 1988. (IVA'88)

The 9th International Conference on Maglev and Linear Drives,
Las Vegas, USA, May 19-21, 1987.

The 8th International Conference on Maglev and Linear Drives,
Vancouver, Canada, May 14-16, 1986. (Expo'86)
[Report\(in Japanese\)](#)

The 7th International Conference on Maglev Transport '85,
Tokyo, Japan, September 17-19, 1985. (Expo'85)
[Table of Contents](#), [Report\(in Japanese\)](#)
[Cover of Proceedings](#)(1.6M, MLU001, HSST-03, TR-06, Birmingham People Mover)

The 6th International Conference on Maglev Transport Now and for the Future,
Solihull, UK, October 9-10, 1984.

The 5th International Conference,
Washington, USA, 1983.

The 4th International Conference,
2nd International Seminar on the Superconductive Magnetic Levitated Train,
Miyazaki, Japan, November 4-5, 1982.
[Report\(in Japanese\)](#)

The 3rd International Conference,
International Symposium on Traffic and Transportation Technologies,
Hamburg, Germany, June 18-20, 1979. (IVA'79)

The 2nd International Conference,
International Seminar on the Superconductive Magnetic Levitated Train,
Miyazaki, Japan, November 9-10, 1978.

The First International Conference,
Boston, USA, 1977.

Last Update: 06/20/2016 20:58 [ACCESS LOG](#)

LDIA 1995,1998,2001,2005,2017

- 山田「日本でリニアドライブの国際会議を！」
- 電気学会主催の国際会合はほかにIPECしかなかった
- 開催記録・プログラム等一覧
 - 現地実行委員会の記録が不足している
 - 1995 山田英二副委員長＋長崎大学
 - 2001 脇若副委員長＋信州大学
- LDIA2017の成功に向けて
- 過去の論文を公開できないか

LDIA 2017 Osaka

LDIA'95 '98 2001 2005 2017
Sponsored by IEE Japan

The 11th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications LDIA 2017

Osaka, Japan, September 6-8, 2017
Osaka Institute of Technology Umeda Campus

[LDIA 2017 Website](#)

[First Call for papers](#)

Important Dates (Deadlines)

Receipt of abstracts **December 31, 2016**
Notification of acceptance **April 1, 2017**
Receipt of full papers **June 30, 2017**

Preliminary Program

September 6 Registration, Welcome Party
September 7 Opening Ceremony, Plenary Lectures,
Technical Sessions, Banquet
September 8 Technical Sessions, Closing Remarks
September 9 Technical Tour

Conference Chair

Toshimitsu Morizane (Osaka Institute of Technology, Japan)

Technical Program Committee

Chair: Keisuke Fujisaki (Toyota Technological Institute, Japan)

Organizing Committee

Chair: Tsutomu Mizuno (Shinshu University, Japan)

International Steering Committee

Chair: Hiroyuki Ohsaki (The University of Tokyo, Japan)

National Steering Committee

Chair: Toshimitsu Morizane (Osaka Institute of Technology, Japan)
Vice chair: Shunsuke Ohashi (Kansai University, Japan)



OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



[Osaka Castle](#)



[Osaka Info](#)



Central Osaka - City of Rivers and Bridges

International Steering Committee (2015/7/27)

Chairperson: Hiroyuki Ohsaki (The University of Tokyo, Japan)

Members:

J. Driesen (KU Leuven, Belgium)
A.C. Ferreira (UFRJ, Brazil)
J.X. Shen (Zhejiang University, China)
L.M. Shi (Chinese Academy of Sciences, China)
Q.F. Lu (Zhejiang University, China)
J.P. Yonnet (LEG, France)
A. Binder (TU Darmstadt, Germany)
W.R. Canders (TU Braunschweig, Germany)
K. Hameyer (RWTH Aachen, Germany)
T. Higuchi (Nagasaki University, Japan)
J. Kitano (Central Japan Railway Company, Japan)
T. Koseki (The University of Tokyo, Japan)

D.H. Kang (KERI, Korea)
E. Lomonova (TU Eindhoven, Netherlands)
I. Boldea (UP Timisoara, Romania)
C. Sadarangani (KTH, Sweden)
A. Cassat (BCD Engineering Sarl, Switzerland)
Y. Perriard (EPFL, Switzerland)
A. Rufer (EPFL, Switzerland)
F.J. Lin (National Central University, Taiwan)
M.C. Tsai (National Cheng Kung University, Taiwan)
F. Eastham (University of Bath, UK)
JiaBin. Wang (University of Sheffield, UK)
Z.Q. Zhu (University of Sheffield, UK)

T. Mizuno (Shinshu University, Japan)
J.P. Hong (Hanyang University, Korea)
H.K. Jung (Seoul National University, Korea)

J. Gieras (UTRC, USA)
S. Gurol (General Atomics, USA)
D. Trumper (MIT, USA)

Past and Future LDIA Symposia

The 12th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2019),
Neuchatel, Switzerland, 2019.
[Neuchatel EPFL](#)

The 11th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2017),
Osaka, Japan, September 6-8, 2017.
[Website](#), [First Announcement](#), [First Call for papers](#)

The 10th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2015),
Aachen, Germany, July 27-29, 2015.
[Website](#), [Call for papers](#), [Presentations](#), [Program](#), [Award](#), [Report](#)(in Japanese)
Photos(pdf) [Dinner\(6.2MB\)](#), Thumbnail(pdf) [Welcome\(345KB\)](#), [Session\(808KB\)](#), [Dinner\(690KB\)](#)

The 9th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2013),
Hangzhou, China, July 7-10, 2013.
Website([archive](#), [copy](#)), [Call for Papers](#), Program***, [Award Information](#)(IEEE), [Report](#)(Zhejiang University), [Report](#)(in Japanese)

The 8th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2011),
Eindhoven, Netherlands, July 3-6, 2011.
[Website](#), [Call for papers](#), [Program](#)

The 7th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2009),
Incheon, Korea, September 20-23, 2009.
[Website\(archive\)](#), [Call for papers](#), Program***

The 6th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2007),
Lille, France, September 16-19, 2007.
[Website\(archive\)](#), [Call for papers](#), [Program](#), [Statistics](#), [Awards](#)

The 5th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2005),
Kobe-Awaji, Japan, September 25-28, 2005.
[Website\(archive\)](#), [Call for papers](#), [Program](#), [Awards](#), [Report](#)(in Japanese)
[Program](#)(Booklet), [Cover of Proceedings](#)(1.4M)
[IEEJ Outstanding Contribution Award](#)(in Japanese)

The 4th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2003),
Birmingham, UK, September 8-10, 2003.
[Website\(archive\)](#), [Call for papers](#), [Program](#), [Report](#)(in Japanese, IEEJ*)

The 3rd International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA 2001),
Nagano, Japan, October 17-19, 2001.
[Website\(archive\)](#), [Program\(html\)](#), (pdf) [Statistics](#), [Awards](#), [Report](#)(in Japanese, IEEJ*)
[Program](#)(Booklet), [Cover of Proceedings](#)(1.4M)

The 2nd International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA '98),
Tokyo, Japan, April 8-10, 1998.
[Information\(archive\)](#), [1st CFP](#), [2nd CFP](#), [List of Papers](#), [Statistics](#), [Awards](#)
[Program](#)(Booklet), [Cover of Proceedings](#)(1.5M)
[Information](#)(in Japanese), [Report](#)(in Japanese: [JIPE](#), [ISCIE](#), IEEJ*)

The First International Symposium on Linear Drives for Industry Applications (LDIA '95),
Nagasaki, Japan, May 31-June 2, 1995.
[Information\(archive\)](#), [List of Papers](#), [Statistics](#), [Report](#)(in Japanese)
[Program](#)(Booklet), [Cover of Proceedings](#)(2.4M)
[Committee Report](#)(in Japanese,3.2M)

Last Update: 04/23/2016 20:51 [ACCESS LOG](#)



まとめにかえて

山田一「リニア磁気アクチュエータの最近の動き」より

リニアモータの研究開発は常に先端技術そのものとしてとらえるべきである。これを推し進めるために必要なものは、自由な発想、高い強度の材料、ユニークな支持機構と簡素な制御である。そして、最も欲しいものはより多くの研究仲間である。

電気学会誌 102,913,1982
および、リニアモータとその応用 まえがき

湯川秀樹「電気と光の本質に就いて」より

兎に角今日の量子力学といふやうなものではいけないのでありまして、更にそれより先の理論に進んで行かなければならぬ。

昭和18年9月26日 第23回聯合大會(戦時中最後) 特別講演 / 電気學會雜誌 64,42,1943